

平成21年度

宇都宮市教育委員会  
点検・評価報告書

平成21年8月  
宇都宮市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
第1章 教育委員会評価の概要	
1 評価の趣旨	2
2 評価のしくみ	2
3 評価対象・期間	3
4 評価の方法	3
5 評価委員	3
第2章 教育委員会の活動状況の評価	
1 教育委員会の活動状況の評価	4
2 教育委員の構成	4
3 教育委員会の組織	5
4 教育委員会の活動状況	6
第3章 教育委員会施策全般の評価	
(1) 生涯にわたる学習活動を促進する	17
・社会をつくる人づくりの促進	
・家庭・地域の教育力向上	
・生涯学習活動への支援充実	
(2) 信頼される学校教育を推進する	18
・学力向上の推進	
・豊かな人間性と健やかなからだの育成	
・地域と連携した独自性のある学校経営の推進	
・教育環境の充実	
・特別支援教育の充実	
・高い指導力と情熱を持つ教職員の育成	
・幼児教育の充実	
・高校・高等教育の充実	
(3) 個性的な市民文化・都市文化を創造する	22
・文化活動環境の充実	
・文化的資源の掘り起こし、保存、継承	
(4) 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	23
・スポーツ活動環境の充実	
・スポーツを支える人材の育成、団体の活性化	
第4章 評価委員による所見	25
おわりに	30
○参考資料	
1 一般会計予算と教育予算	31
2 施策評価表	32

## はじめに

教育委員会制度は、首長からの独立、合議制、レイマンコントロールにより、政治的中立性、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映を図るものとして、戦後わが国に導入され、地方教育行政の基本的な制度として定着しています。

また、地方分権の進展や教育に関するニーズの高まり、委員会の担業務の多様性や専門性などから制度創設時から現在に至るまで、随時、制度改正を重ねてきています。

このような中、平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年4月から施行されました。

この改正法の大きな柱の一つであります「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられたところであります。

本市教育委員会においては、毎月、重要事項を審議決定する教育委員会議を開催するとともに、教育施策に関する研修、視察等を行うなど、事務局と連携しながら、積極的な活動を通じて教育行政の推進に努めてまいりました。さらには、昨年度実施した点検・評価を生かして、教育施設や学校への現地視察や教員等との意見交換を積極的に行うなど、より市民に開かれた教育委員会を目指し、市民協働による教育の実施に努めてまいりました。

本報告書では、まず、本市の評価制度の概要を説明いたします。そして平成20年度の教育委員会の活動状況を振り返るとともに、本市教育委員会が実施した施策全般について、その施策ごとに行った点検・評価の結果を報告いたします。本年度の評価の実施にあたっては、学識経験者として、宇都宮大学教授 木村 寛様、チャイルドラインとちぎ 副理事長 松江比佐子様のお二人から所見をいただき、評価結果に反映させていただいております。

平成21年8月

宇都宮市教育委員会

# 第1章 教育委員会評価の概要

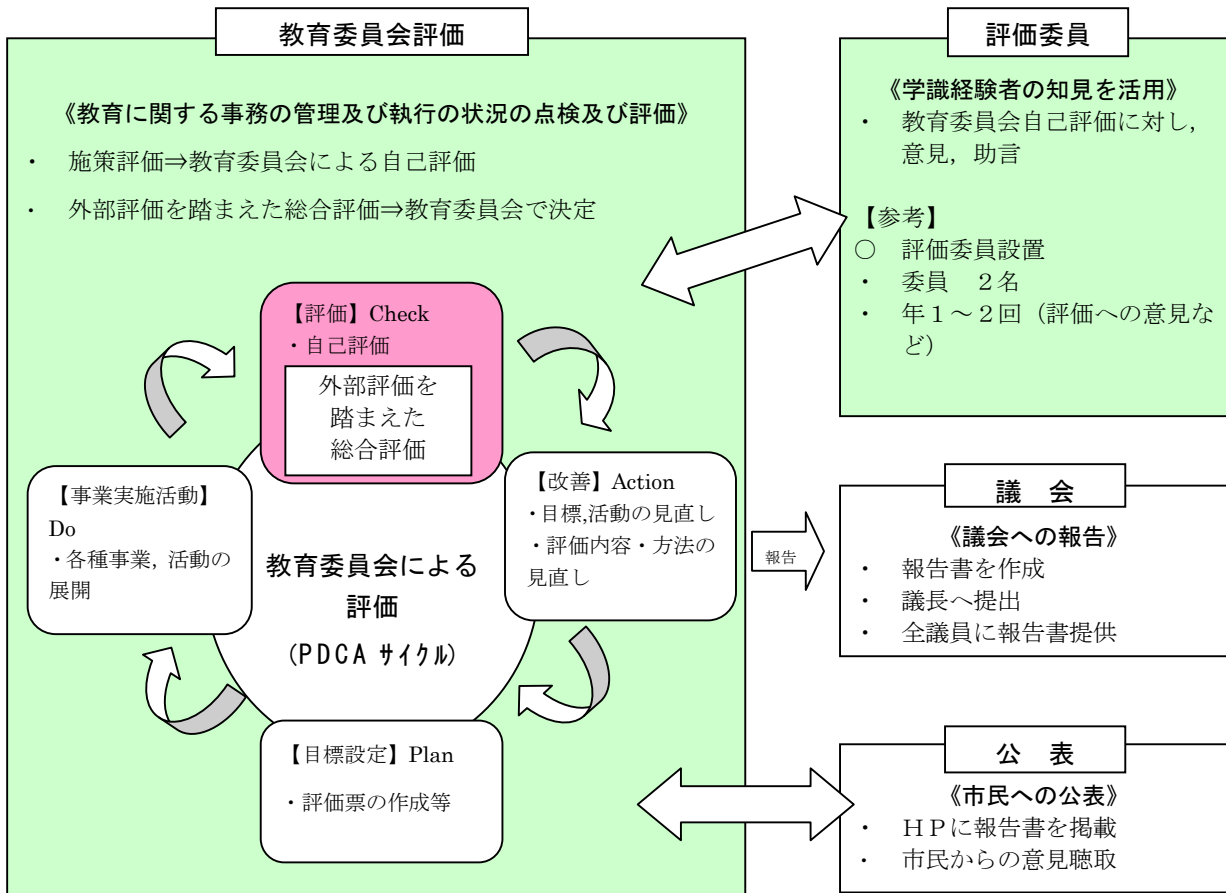
## 1 評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、宇都宮市教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する。

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋（平成20年4月施行）**  
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）  
 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務（同上第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。  
 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 評価のしくみ

教育委員会により自己評価を実施し、外部評価委員の意見を踏まえ総合評価を行う。



### 3 評価対象・実施期間

#### (1) 対象

平成20年度実施の教育行政全般とする。

○教育委員会活動状況

○教育委員会施策全般

※市立小中学校において、教育機関としての評価を実施するものは、除く

#### (2) 実施期間 平成21年5月～8月

### 4 評価の方法

#### ア 自己評価

各主管課及び教育委員会による評価を実施

#### イ 評価委員からの意見の聴取

教育委員会評価委員（学識経験者）から意見を聴取

自己評価に対する意見，助言

#### ウ 総合評価

自己評価に対する評価委員からの意見等を踏まえ，総合的な評価を行い，次年度への課題，今後の方向性を示す。

### 5 評価委員（学識経験者）

本市教育行政に大きく携わり，専門的かつ広い観点からの知見を期して，学校教育，社会教育全般における識見の高い方から御意見をいただいた。

氏名	団体・役職名
木村 寛	宇都宮大学 教授
松江比佐子	チャイルドラインとちぎ 副理事長

## 第 2 章 教育委員会の活動状況の評価

### 1 教育委員会の活動状況の評価

教育委員会の意見が教育行政に十分反映されているか、市民や教育現場の意見が反映されているか、幅広い視点から事務局の管理監督ができているかなどの観点から評価を行った。

#### 【評価】

昨年度の評価を踏まえ、「市民に開かれた教育委員会」を目指し、会議開催の周知を積極的に行うとともに、市内の教育施設等に会場を移して教育委員会を開催するなど、市民の公聴の機会を増やした。

また、教育現場の状況を十分に把握し、教育施策に反映させるため、教育施設や学校等への視察を行うとともに、教職員等との意見交換を行い、その意見、要望に対し、速やかに対応を図ったところである。

#### 【今後の方向性】

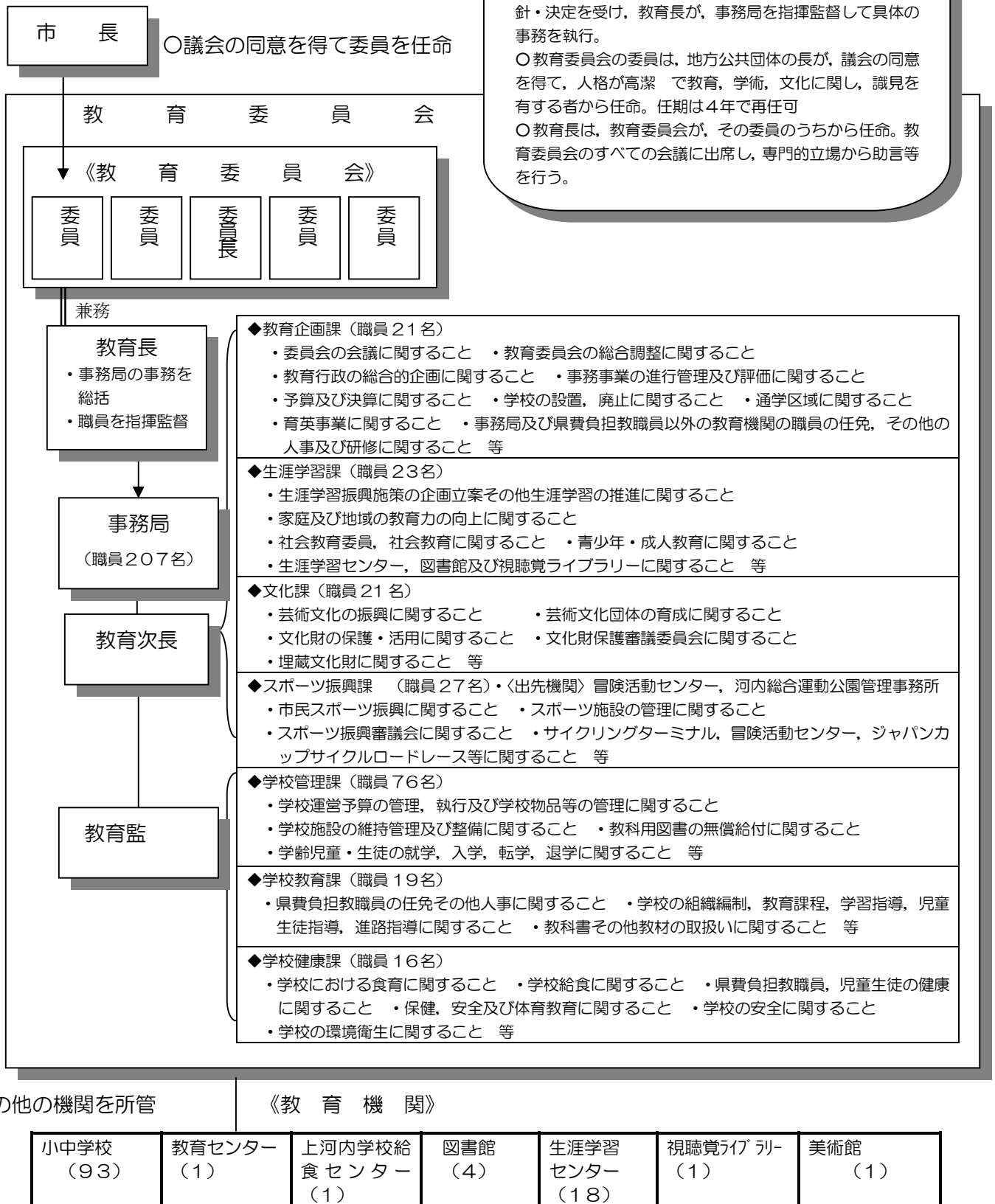
今後は、これまでの取組みを一層充実するとともに、本市の教育行政をリード、サポートする役割を意識しながら、家庭や地域社会へ、教育委員としての考えやメッセージを積極的にアピールしていく。

また、幅広い視点から教育施策を推進できるよう、広く市民や関係者との意見交換などを通じて現状把握に努めるとともに、委員協議会を活用して教育課題の調査研究などの研修を充実していく。

### 2 教育委員の構成（平成 21 年 8 月末現在）

職・氏名	委員長 藤原 宏史	委員長職務代理者 石井 智子	委員 大場 文恵	委員 大矢 裕啓	教育長 伊藤 文雄
任期	H17.10.1～ H21.9.30 1 期 4 年	H18.10.1～ H22.9.30 1 期 3 年	H19.10.1～ H23.9.30 1 期 2 年	H20.10.1～ H24.9.30 1 期 1 年	H16.4.1～ H24.9.30 2 期 5 年 6 月
職業・分野	会社役員 (経済)	会社員 (保護者)	音大准教授 (文化)	会社役員 (青少年育成)	— (教育行政)

### 3 教育委員会の組織



《教育委員会制度の仕組》

○教育委員会は、非常勤の委員を持って組織。これら委員の合議により、大所高所から基本方針を決定し、その方針・決定を受け、教育長が、事務局を指揮監督して具体的な事務を執行。

○教育委員会の委員は、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、人格が高潔で教育、学術、文化に関し、識見を有する者から任命。任期は4年で再任可

○教育長は、教育委員会が、その委員のうちから任命。教育委員会のすべての会議に出席し、専門的立場から助言等を行う。

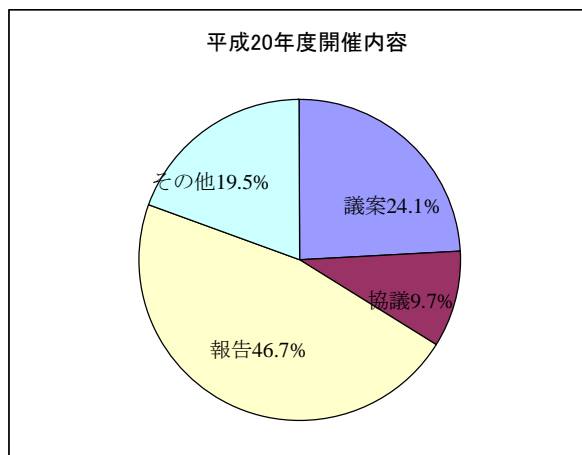
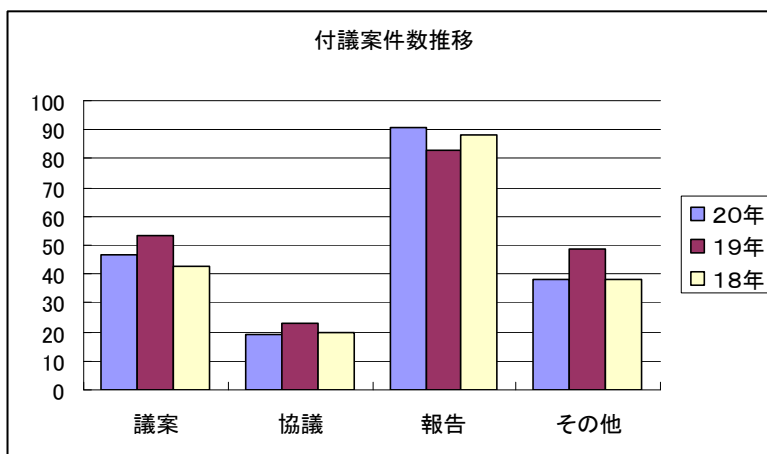
#### 4 教育委員会の活動状況

##### (1) 教育委員会会議の開催状況

平成20年の付議案件の内容については、7～13ページ参照。

		20年	19年	18年	市町村平均 ※
開催 回数	定例会	12	12	12	9.4
	臨時会	4	7	6	3.0
計		16	19	18	
付議 案件数	議案	47	53	43	
	協議	19	23	20	
	報告	91	83	88	
	その他	38	49	38	
計		195	208	189	

※平成18年度文部科学省調べ





【平成20年 教育委員会審議案件等一覧】

○教育委員会議 審議案件

回	議案番号	件名	審議年月日
1	第1号	宇都宮市立小中学校施設の開放に関する規則の一部改正	H20.1.25
1	第2号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.1.25
2	第3号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について	H20.2.15
2	第4号	平成20年度教育委員会事務局組織について	H20.2.15
2	第5号	宇都宮市通学区域審議会委員の委嘱について	H20.2.15
3	第6号	職員の人事について	H20.3.10
4	第7号	平成20年度小中学校長の人事異動の内申について	H20.3.14
5	第8号	宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則の一部改正	H20.3.21
5	第9号	宇都宮市教育委員会職員の職の設置等に関する規則の一部改正	H20.3.21
5	第10号	宇都宮市立小中学校管理規則等の一部改正	H20.3.21
5	第11号	(仮称)宇都宮市学校給食の管理, 執行に関する規則の制定	H20.3.21
5	第12号	「学校教育制度基本計画(宮っ子はぐくみ未来プラン)」の策定について	H20.3.21
5	第13号	「宇都宮市地域教育推進計画(第3次生涯学習推進計画)」の策定について	H20.3.21
5	第14号	「宇都宮市親力向上支援プラン」の策定について	H20.3.21
5	第15号	「宇都宮市学校教育推進計画(うつのみや“いきいき学校”プラン)」の改訂について	H20.3.21
5	第16号	「宇都宮市スポーツ振興基本計画」の改訂について	H20.3.21
5	第17号	「宇都宮市スポーツ施設整備計画」の改訂について	H20.3.21
6	第18号	平成20年度教育委員会運営方針について	H20.4.25
6	第19号	宇都宮市社会教育委員の解職及び委嘱について	H20.4.25
7	第20号	(仮称)宇都宮市図書館機能・サービス向上計画の策定について	H20.5.20
7	第21号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について	H20.5.20
7	第22号	宇都宮市就学指導委員会委員の解職及び委嘱について	H20.5.20
7	第23号	教職員の懲戒処分の内申について	H20.5.20
7	第24号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.5.20
8	第25号	宇都宮市学校職員証の交付に関する規則の制定	H20.6.27
8	第26号	宇都宮市学校職員服務規程の一部改正	H20.6.27

回	議案番号	件名	審議年月日
8	第27号	平成21年度教育委員会組織・定数の方針について	H20.6.27
8	第28号	宇都宮市社会教育委員の解職及び委嘱について	H20.6.27
8	第29号	宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の解職及び委嘱について	H20.6.27
8	第30号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.6.27
9	第31号	平成21年度使用宇都宮市立小・中学校教科用図書の採択について	H20.7.18
9	第32号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.7.18
9	第33号	教職員の懲戒処分の内申について	H20.7.18
10	第34号	宇都宮市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定	H20.7.25
11	第35号	教育委員会に係る議会を経るべき事件の意見の提出について	H20.8.18
12	第36号	「学校問題に係る対策方針（最終報告）」（案）について	H20.9.26
12	第37号	宇都宮市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正	H20.9.26
12	第38号	宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について	H20.9.26
12	第39号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.9.26
14	第40号	平成21年度宇都宮市立小中学校教職員定期異動に係る基本的な考え方について	H20.10.24
14	第41号	宇都宮市指定文化財の指定について	H20.10.24
15	第42号	教育委員会に係る議会を経るべき事件の意見の提出について	H20.11.21
15	第43号	教育委員会評価について	H20.11.21
15	第44号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.11.21
16	第45号	職員の人事について	H20.12.9
17	第46号	宇都宮市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正	H20.12.26
17	第47号	学校の器物損壊事件における告訴について	H20.12.26

○教育委員会議 協議案件

回	協議番号	件名	協議年月日
1	第1号	「(仮称) 学校教育制度基本計画」の素案について	H20.1.25
1	第2号	「(仮称) 第3次生涯学習推進計画」の素案について	H20.1.25
1	第3号	「(仮称) 親力向上支援プラン」の素案について	H20.1.25
1	第4号	平成19年度小中学校卒業式のあいさつ文(案)について	H20.1.25
2	第5号	(仮称) 図書館機能・サービス向上計画素案について	H20.2.15
2	第6号	「宇都宮市スポーツ振興基本計画」の改訂について	H20.2.15
2	第7号	「宇都宮市スポーツ施設整備計画」の改訂について	H20.2.15
5	第8号	学校問題に係る対策方針の策定について	H20.3.21
6	第9号	教育委員会の活動について	H20.4.25
7	第10号	教育懇談会の実施について	H20.5.20
7	第11号	教育委員会評価の実施について	H20.5.20
8	第12号	平成20年度第1回教育懇談会実施要領について	H20.6.27
10	第13号	教育委員会評価(自己評価)について	H20.7.25
14	第14号	平成21年度教育委員会予算編成方針について	H20.10.24
15	第15号	合併に伴う旧町境及び宇都宮駅東口土地区画整理事業の施行に伴う通学区域について	H20.11.21
15	第16号	平成21年度教育委員会予算の要求状況について	H20.11.21
15	第17号	「第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画」の素案について	H20.11.21
15	第18号	「(仮称) 宇都宮市立小中学校体力向上推進計画(うつのみや元気っ子プロジェクト)」の素案について	H20.11.21
17	第19号	平成20年度第2回教育懇談会の実施について	H20.12.26

○教育委員会議 報告案件

回	報告番号	件名	報告年月日
1	第1号	教育行政相談の内容と対応について	H20.1.25
1	第2号	平成19年度宇都宮市入学一時金貸付者選考結果について	H20.1.25
1	第3号	「うつのみや学校マネジメントシステム」の導入（学校経営改善のための学校評価と情報の発信・提供の充実）について	H20.1.25
1	第4号	教職員ひらめき提案制度の審査結果について	H20.1.25
1	第5号	平成19年度学校給食優良学校等の表彰（県教育長表彰）について	H20.1.25
1	第6号	学校事件・事故について	H20.1.25
1	第7号	平成20年成人式について	H20.1.25
2	第8号	教育行政相談の内容と対応について	H20.2.15
2	第9号	中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例発生に係る教育委員会の対応経過について	H20.2.15
2	第10号	義務教育皆勤賞表彰について	H20.2.15
2	第11号	宮っ子ステーション事業の実施状況について	H20.2.15
2	第12号	学校事件・事故について	H20.2.15
5	第13号	平成20年3月議会一般質問の概要について	H20.3.21
5	第14号	教育行政相談の内容と対応について	H20.3.21
5	第15号	「宮っこだより企業版」の発行について	H20.3.21
5	第16号	「新入生の保護者の皆様へ」及び「学校教育スタンダード」の発行について	H20.3.21
5	第17号	学校事件・事故について	H20.3.21
5	第18号	全国学力・学習状況調査の実施について	H20.3.21
5	第19号	「学習指導の工夫・改善のために」について	H20.3.21
5	第20号	「宇都宮市立小・中学校情報発信・提供ガイドライン」の策定について	H20.3.21
5	第21号	学校給食費滞納対策の成果と今後の取組について	H20.3.21
5	第22号	「通学路における児童生徒の安全確保に関するガイドライン」の策定について	H20.3.21
5	第23号	第7回宇都宮エスペール文化振興事業「宇都宮エスペール賞」受賞者の決定について	H20.3.21
5	第24号	平成19年度宇都宮市入学一時金貸付者（2次募集）の選考結果について	H20.3.21

回	報告番号	件名	報告年月日
6	第25号	教育長の権限に属する事務の委任及び事務決裁規程の一部改正	H20.4.25
6	第26号	小中一貫教育推進のための検討組織体制等について	H20.4.25
6	第27号	教育行政相談の内容と対応について	H20.4.25
6	第28号	学校問題に係る対策方針（第一次報告）の策定について	H20.4.25
6	第29号	学校の事件事故について	H20.4.25
6	第30号	平成19年度の学校給食費滞納対策の成果について	H20.4.25
6	第31号	「うつのみや元気っ子プロジェクト」の策定について	H20.4.25
6	第32号	栄養士の全校配置による食育の充実について	H20.4.25
6	第33号	宇都宮市図書館資料取扱規程の一部改正について	H20.4.25
6	第34号	宇都宮伝統文化連絡協議会の設立について	H20.4.25
6	第35号	平成19年度教職員研修の実施状況等について	H20.4.25
6	第36号	教員用パソコンの配備及びセンターサーバの更新について	H20.4.25
7	第37号	教育行政相談の内容と対応について	H20.5.20
7	第38号	第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画の策定体制等について	H20.5.20
7	第39号	平成19年度教育センター相談室における相談状況について	H20.5.20
7	第40号	平成19年度適応支援教室における支援状況について	H20.5.20
7	第41号	学校の事件事故について	H20.5.20
7	第42号	（仮称）宇都宮市外国人児童生徒教育推進計画の策定について	H20.5.20
8	第43号	教育行政相談の内容と対応について	H20.6.27
8	第44号	「うつのみや人間力向上フォーラム2008」の開催について	H20.6.27
8	第45号	平成20年度宇都宮市奨学生の選考結果について	H20.6.27
8	第46号	6月議会一般質問の概要について	H20.6.27
8	第47号	平成20年度「頑張る学校プロジェクト」交付金事業の実施状況について	H20.6.27
8	第48号	（仮称）第3図書館の施設概要について	H20.6.27
8	第49号	学校支援地域本部事業の取組みについて	H20.6.27
8	第50号	感染性胃腸炎の集団発生について	H20.6.27
8	第51号	「学校敷地内における自家用車の駐車に関する要綱」の制定について	H20.6.27
8	第52号	学校施設空調設備運用マニュアルの配布について	H20.6.27
8	第53号	学校事件・事故について	H20.6.27

回	報告番号	件名	報告年月日
8	第54号	教育委員会所管施設の天窓の設置状況について	H20.6.27
8	第55号	学校施設の耐震化について	H20.6.27
9	第56号	学校事件・事故について	H20.7.18
10	第57号	教育行政相談の内容と対応について	H20.7.25
10	第58号	平成19年度における「宇都宮市学校教育推進計画－うつのみや“いきいきプラン”－」の進捗状況について	H20.7.25
10	第59号	「宇都宮市学校教育推進計画－うつのみや“いきいきプラン”－」の指標の見直しについて	H20.7.25
11	第60号	教育行政相談の内容と対応について	H20.8.18
11	第61号	宇都宮ジュニア未来議会の概要について	H20.8.18
11	第62号	学校協力員の委嘱について	H20.8.18
11	第63号	学校事件・事故について	H20.8.18
12	第64号	平成20年9月議会一般質問の概要について	H20.9.26
12	第65号	教育行政相談の内容と対応について	H20.9.26
12	第66号	学校版もったいない運動の推進について	H20.9.26
12	第67号	携帯電話等の使用に係る問題対策について	H20.9.26
12	第68号	学校事件・事故について	H20.9.26
14	第69号	教育行政相談の内容と対応について	H20.10.24
14	第70号	学校事件・事故について	H20.10.24
14	第71号	平成20年度宇都宮市奨学生（2次募集）の選考結果について	H20.10.24
14	第72号	平成20年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について	H20.10.24
14	第73号	スタンダードダイアリーの配付について	H20.10.24
14	第74号	うつのみや人間力向上フォーラム2008の開催結果について	H20.10.24
14	第75号	うつのみや地域教育メッセの結果について	H20.10.24
14	第76号	「うつのみや いじめゼロ宣言」と「平成20年度いじめゼロポスター」について	H20.10.24
14	第77号	第3回うつのみや食育フェアにおける教育委員会ブース実施状況について	H20.10.24
15	第78号	教育行政相談の内容と対応について	H20.11.21
15	第79号	平成20年度学校給食優良学校等の表彰（文部科学大臣表彰）について	H20.11.21
15	第80号	本市不登校の状況と今後の取組の方向性について	H20.11.21
15	第81号	平成20年度宇都宮市地域教育活動支援補助金の交付状況について	H20.11.21
15	第82号	学校事件・事故について	H20.11.21

回	報告番号	件名	報告年月日
15	第83号	本市学校給食の取組における平成20年度栃木県公衆衛生学会長表彰の受賞について	H20.11.21
15	第84号	平成19年度 いじめ，暴力行為の状況について	H20.11.21
17	第85号	教育行政相談の内容と対応について	H20.12.26
17	第86号	12月議会一般質問の概要について	H20.12.26
17	第87号	いじめ，暴力行為の状況と今後の対応策について	H20.12.26
17	第88号	「(仮称)携帯電話等の使用に係る問題対策指針」の策定について	H20.12.26
17	第89号	平成20年度学校給食優良学校等の表彰（栃木県教育長表彰）について	H20.12.26
17	第90号	学校事件・事故について	H20.12.26
17	第91号	地域スポーツクラブの設立推進と効果について	H20.12.26

## (2) 移動教育委員会の開催

- 1月定例会（会場：中央生涯学習センター）

平成21年 1月23日（金）午後1時30分～午後2時30分

- 2月定例会（会場：宇都宮美術館）

平成21年 2月13日（金）午後2時30分～午後4時30分

## (3) 視察、研修や市民との意見交換などの活動状況

### ア 学校・教育機関の視察

- 適応支援教室「まちかどの学校」

平成20年 6月27日（金）午後3時30分～午後5時

- ・施設見学
- ・職員との意見交換

- 若松原中学校

平成20年 7月16日（水）午後2時～午後3時40分

- ・冷房運用状況見学
- ・校長等との意見交換（校長，副校長ほか）

- 新田小学校

平成20年10月29日（水）午前10時20分～午前11時20分

- ・授業参観（英語活動）
- ・校長等との意見交換（校長，副校長ほか）

- 宇都宮美術館

平成21年 2月13日（金）午後1時20分～午後2時40分

- ・館内見学
- ・美術館職員との意見交換

### イ 教育委員の自主研修、活動

- 中央小学校

平成20年 7月29日（火）

小寺委員長，藤原委員

- ・校長との懇談





#### ウ 教育委員と二役（市長，副市長）の意見交換会

○平成20年 8月18日（月） 午後2時～午後3時30分

テーマ「本市の教育の充実について」

・教育委員からの提案 ・自由討議

○平成21年 2月20日（月） 午後3時30分～5時

テーマ「教育委員会に期待すること」「教育課題と抱負について」

・教育委員からの提案 ・自由討議

#### エ 教育懇談会（教育委員と市民の意見交換会）

第1回 ※担当課：教育企画課

開催日： 8月 9日（土） 午後1時30分～午後3時30分

テーマ： 「わたしたちができる身近な取り組み」（よわい人をいたわる心について）

内 容： 「よわい人とはどんな人か」「いたわる心とはどんな心か」の内容で，具体的にはどんなことができるのかについての意見交換

ここでの意見交換をもとに，9月開催のうつのみや人間力向上フォーラムでの子ども討論会「宮っ子の誓い わたしたちにできること」を実施

参加者： 小学生10名，中学生10名，高校生10名 合計30名

第2回 ※担当課：教育企画課

開催日： 1月23日（金） 午後3時00分～午後4時30分

テーマ： 「理想の教師像」，「学校の現状」，「これからの学校教育」

内 容： 苦勞した事，感動した事，教育委員会にお願いしたい事など

参加者： 教職員29名

#### オ 委員協議会（議案の事前審議その他研究協議）

- ・ 教育関連3法案改正の概要と本市の対応について
- ・ 平成20年度 教科書採択関係事務について
- ・ 学校問題に係る対策方針（第一次報告）について
- ・ 不登校児童生徒の活動内容や関わり方について
- ・ 小中一貫教育（教育環境，カリキュラムの進捗状況など）について
- ・ 平成21年成人式について

#### (3) その他

##### 広報広聴状況

広報誌，HP，記者発表などの広報活動，教育行政相談状況などの広聴  
「宮っこだより」の発行 平成17年度～（平成18年度～全戸配付）  
年2回発行 平成20年度（11月，3月）

## 第3章 教育委員会施策全般の評価

本教育委員会の事務を4基本施策，15施策に分類し，達成度（目標値への達成度），妥当性（事業の見直し），経済性（費用対効果），必要性（住民・社会ニーズ）の観点から，各施策ごとに評価を行った。施策名は以下のとおりである。

○評価

○今後の方向性

※参考資料として33ページ以降に事務局による施策評価表を掲載した。（目標，達成状況，主な事業，経費など）

### 【基本施策・施策】

1. 生涯にわたる学習活動を促進する
  - ① 社会をつくる人づくりの推進
  - ② 家庭・地域の教育力の向上
  - ③ 生涯学習活動への支援充実
2. 信頼される学校教育を推進する
  - ① 学力向上の推進
  - ② 豊かな人間性と健やかなからだの育成
  - ③ 地域と連携した独自性のある学校経営の推進
  - ④ 教育環境の充実
  - ⑤ 特別支援教育の充実
  - ⑥ 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成
  - ⑦ 幼児教育の充実
  - ⑧ 高校，高等教育の充実
3. 個性的な市民文化・都市文化を創造する
  - ① 文化活動環境の充実
  - ② 文化的資源の掘り起こし，保存，継承
4. 生涯にわたるスポーツ活動を促進する
  - ① スポーツ活動環境の充実
  - ② スポーツを支える人材の育成，団体の活性化

## 【施策ごとの評価, 方向性】

### 1. 生涯にわたる学習活動を促進する

#### ① 社会をつくる人づくりの推進

##### 【評価】

成人, 青少年を対象とする講座など, 生涯学習センター事業の実施や成人式の開催, 社会教育団体への助成を通じた人づくりの取組を行っており, ほとんどの事業において, 目標値を達成している。

尚, 全生涯学習センター講座への参加者数は, 旧合併町における実績が反映されたことにより既に当初の目標値を超えているが, 引き続き増加を目指していく。

今後も, 引き続き子どもたちの自主的な活動を促進する体験活動や読書活動の推進など, 内容の充実を進めていくとともに, 地域社会に貢献する人材の更なる育成のため, 社会人や高齢者を含めたすべての大人に対する成人教育のあり方について検討する必要がある。

##### 【今後の方向性】

引き続き人づくりの推進を図るために, 成人対象事業, 青少年対象事業はもとより, 子どもの体験活動や読書活動の推進など, 更なる内容の充実を進めていくとともに, 成人教育のあり方については, 社会教育委員の会議に諮問するなど, 検討を進めていく。

#### ② 家庭・地域の教育力向上

##### 【評価】

親学出前講座などによる家庭の教育力向上や放課後子ども教室の拡充による地域の教育力向上などに取組んでいるが, 宮っ子ステーションの設置校区数は目標に達していない状況である。今後も個々の家庭での教育と連携しながら, 地域全体で子どもを育成していくため, 親力向上支援事業のより効果的な実施や関係団体及び企業との連携強化, さらに, 宮っ子ステーション事業実施校区の拡大に向けた取組などについて, 民間や魅力ある学校づくり地域協議会などと連携を図りながら, 一層推進していく必要がある。

##### 【今後の方向性】

より一層, 家庭・地域の教育力の向上を図るために, 指導者となる人材の育成や情報提供等の支援事業を統一的に推進できる拠点機能の整備や, 家庭教育対象事業の強化, 宮っ子ステーション事業の実施校区の拡大など, 更に事業を推進していく。

#### ③ 生涯学習活動への支援充実

##### 【評価】

図書館の整備やマンパビスによる生涯学習情報の提供, 生涯学習ボランティアの養成などによる, 生涯学習活動への支援充実に取組んでおり, 各事務事業の目標

は概ね達成している。

今後は（仮称）第3図書館の建設を含めた、図書館整備の推進、および地域教育メッセの開催による、主体的な学習活動を行う市民同士の新たな人材交流機会の充実、学習成果を生かす場の提供等に取り組む。また、効率的な地域教育推進体制の構築のため、拠点機能の整備等についての検討も進める必要がある。

#### 【今後の方向性】

市民の多様化する学習ニーズに対応し、学習活動を支援するため、生涯学習センター・図書館等での事業を充実していく。また、（仮称）第3図書館 については、引き続き、社会教育・生涯学習の拠点としてふさわしい施設整備を行っていく。さらに、政策立案機能、統括機能、人材育成等の指導支援機能を強化し、地域教育を推進するための体制整備を進めていく。

## 2. 信頼される学校教育を推進する

### ① 学力向上の推進

#### 【評価】

「学習内容定着度調査」や「学習と生活についてのアンケート」などの結果を指導の工夫・改善に生かすとともに、習熟度別学習の実施等より基礎的・基本的な学習内容の定着に努めているが、国語科の読解力など特定の領域について課題が認められる。この課題の解決について、市全体として改善策を講じる必要がある。

#### 【今後の方向性】

児童生徒の学習意欲を高め基礎学力の定着を図るために、一人一人に応じたきめ細かな指導を一層充実させる必要がある。さらに、今後は、「学習内容定着度調査」の結果から認められる課題解決のため、市教委と教員によるプロジェクトチームを立ち上げ、課題解決の方策と併せ、学力の向上を図る上で重要な「教員の授業力の向上」を目指していく。また、総合訪問において、直接教員に教科指導を行う機会を新たに設定するとともに、「教育実践促進事業」及び「研究学校支援事業」を「授業力向上プロジェクト事業」として再編成し、これまでの事業の見直しを行いながら、授業力向上に係る新たな取組を行っていく。

### ② 豊かな人間性と健やかなからだの育成

#### 【評価】

健やかなからだの育成のための食育事業や体力向上事業等については、目標は概ね達成しており、朝食欠食児童生徒が減少しているほか、給食費滞納対策において支払い能力がありながら支払わない滞納者がいなくなるなど、実施効果も見られるが、お弁当の日や元気っ子プロジェクトなどの新たな取組について適切な進行管理と評価を行うとともに、自校炊飯の拡大や部活動推進のための具体策な

ど課題解決に向けた検討を行う必要がある。

いじめゼロ運動や児童生徒指導など豊かな人間性育成のための事業については、いじめの解消率が高くなるなど一定の成果が上がっているが、携帯電話の使用に係る問題が顕在化するなど社会環境の変化に伴う新たな問題への対策を講じる必要がある。

#### 【今後の方向性】

「豊かな人間性と健やかなからだの育成」は、学校教育の原点ともいえる施策であり、次世代を担う宮っ子育成のためにも必要不可欠な重要施策である。また、社会環境の変化に伴い、新たな対応が求められる施策でもあることから、状況やニーズ把握に努め、各事業の効果を検証しながら既存事業の見直しや新たな事業展開を検討し、食育や体力向上、児童生徒指導の充実に取り組む必要がある。

具体的には、うつのみや元気っ子プロジェクトの推進については、平成20年度に策定した計画をもとに平成21年度からは元気っ子健康体力チェックの実施、元気っ子チャレンジの認定などを実施していく。

「児童生徒指導事務」についても、平成21年度から「宮っ子すくすくノーケイタイプラン」に基づき、小中学生への指導の徹底や、保護者への啓発などの取り組みを着実に実施していく。

また学校教育における食育推進事業については、お弁当の日を実施するなどして、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするとともに、豊かな心を育成し、社会性を養っていく。

### ③ 地域と連携した独自性のある学校経営の推進

#### 【評価】

「魅力ある学校づくり地域協議会」の全校設置が完了し、協議会委員による学校関係者評価を活用した学校運営の改善も行われているが、設立して間もない協議会などへの活動状況に応じた支援の充実に努めるとともに、地域学校園を中心とした小中一貫教育事業の実現を目指して、地域の学校づくりを進めていく必要がある。

#### 【今後の方向性】

次代を担う児童生徒を育成するため学校・家庭・地域が一体となった取組を行い、「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動の充実に努めるとともに、平成22年度のモデル地域学校園実施に向けた取組を進めながら、今後も地域の学校づくりの一層の推進に努めていく。

### ④ 教育環境の充実

#### 【評価】

少子高齢化や情報化、国際化など教育を取り巻く環境が変化する中、学校教育に対して新たな取組が強く求められている。

校舎や体育施設等の整備については、計画的に進めており、特に耐震化は、地震発生時の児童生徒等の安全性の確保とともに地域住民の避難場所としての役割を果たすため、着実な実施を進めている。

また、教育環境の改善については、20年度に中学校の普通教室等への空調設備の設置、21年度には小学校の普通教室等への空調設備の設置を予定するなど、学校リフレッシュ事業を進めているが、校舎等のトイレについては、設備等の老朽化によるにおいや排水のつまりなどについて早期に改修が必要である。

教育用パソコン整備については、国の「IT新改革戦略」において目標が示されており、教員用のパソコンや校内LANは整備が完了しているが、パソコン室や普通教室用のパソコンについては、国の目標に達していない状況である。

#### 【今後の方向性】

学校施設の安全性確保や老朽化への対応、快適な学習環境の確保がますます求められており、耐震化、校舎大規模改造、体育館改築、リフレッシュスクールなどの事業について、国の支援を有効に活用し計画的に推進していく。

また、今後とも、教育用パソコン整備事業を進めるとともに、これまで整備した情報化基盤を最大限活かし、学校事務の効率化をさらに進めるなど、ハード・ソフト両面から教育環境の充実を図っていく。

### ⑤ 特別支援教育の充実

#### 【評価】

特別支援学級入級者・通級指導教室通級者の増加や、市民の施策重要度41位という結果等、特別支援教育に対するニーズは高まってきている。

一人ひとりのニーズに応じた適切な教育的支援を提供するために、研修会等で個別の指導計画の意義や効果を啓発するとともに、指導資料「通常の学級で行う特別な支援の在り方」を全教職員に配付した。

併せて、特別支援教室（かがやきルーム）を小学校31校に整備し、専任の特別支援教室（かがやきルーム）指導員を配置するとともに、新たに特別支援教育支援員を配置し、支援の場の充実に努めている。

しかし、一人ひとりのニーズに応じた支援を行うためには「かがやきルーム」等の支援の場の拡大や充実、教職員の指導力のより一層の向上と全職員の共通理解による校内支援体制の構築を図ることが重要である。

また、保護者や市民の理解も必要であることから、特別支援教育の啓発に継続的に取り組む必要がある。

#### 【今後の方向性】

「かがやきルーム」での指導内容の充実を図るためには、教科書や指導書、教材・備品等を整備していくことが必要である。

また、広く保護者や市民の理解を得るために、これまでの啓発活動を継続する他、親学講座や広報紙、メディアなどのより一層の活用を図っていく。

## ⑥ 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成

### 【評価】

教職員が、将来にわたり高い使命感と責任感をもって職務を遂行でき、それぞれの役割においてリーダーシップを発揮し、本市学校教育の充実に資する人材を育成するためのシステムを構築する必要がある。

また、教育ニーズの多様化などに伴い、児童生徒指導・保護者の対応などに悩む教職員が増えてきており、早急に対策を講じる必要がある。

今後は、教職員が主体的に諸問題と向き合い、学校経営に参画する態度を育成するために、学校改善のための柔軟な発想や創意工夫を最大限に発揮し、自律的に行動しようとする意識の一層の高揚を図る必要がある。

### 【今後の方向性】

今後とも、「頼れる教職員」の育成を目指した取組を継続するとともに、教職員の人事権移譲を見据え、本市が求める教職員像を明確化し、教職員のライフステージに応じて必要とされる資質・能力の向上を図るために、人事制度や研修体系を見直し、本市独自の教職員人材育成システムを構築していく。

また、教職員の心の健康づくりについて、教職員が、心身ともに健康で、いきいきと職務に励むことができるよう、きめ細やかな予防策や、早期発見・早期対応策を積極的に講じていく。

さらに、自律的に職務を遂行し、学校経営に積極的に参画する教職員を育成するため、提案数が低調な「教職員ひらめき提案制度」について、募集期間の変更や表彰枠の増設、各種研修や学校訪問の際の募集の呼びかけ、提案内容を各校での導入実施することなどにより、制度への関心と提案意欲を高める。

## ⑦ 幼児教育の充実

### 【評価】

社会環境の変化や家庭や地域の教育力の低下を背景に、人間力の向上を図る上で、幼児期における教育の重要性はますます高まっている。

小一ギャップの問題が指摘されている中、幼稚園・保育園と小学校における教育の連携を促進し、幼児期から小学校教育への円滑な接続を図る幼保小連携推進事業を着実に推進してきており、各小学校区において情報交換体制の確立などに努めている。

今後も、個々の子どものよさを伸長することができるような幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続に努める必要がある。

### 【今後の方向性】

幼児教育の充実を図るために、幼稚園・保育園・小学校の縦の連携、子ども行政と教育行政の連携などに努め、事業の充実を図る必要がある。

また、幼児教育についてより一層の振興を図るため、就学前における幼児教育プログラムの構築に向けて検討を行う。

## ⑧ 高校・高等教育の充実

### 【評価】

本施策は、高度で専門的な学習機会を充実させるため、社会教育分野での学習機会の充実と学校教育分野（高校・大学等）での学習機会の確保、修学支援を目的とする２種類の事業を展開している。

社会教育分野では、宇都宮大学と連携し、公開講座の開催を働きかける手法と市が直接学習機会を提供する手法（市民大学の開催）をとっている。

今後は、宇都宮大学以外の市内7大学との連携を強化し、公開講座を拡大する必要がある。

学校教育分野では、奨学金貸付事業を実施しているが、卒業生の返還で在校生の貸付金を賄うというシステムを保持するため、連帯保証人からの回収や法的措置の実施などにより、収納率を上げる必要がある。

### 【今後の方向性】

奨学金貸付事業は、人材育成のための重要な事業であることから、積極的に周知し、貸付者を増やすとともに収納率の向上に努める必要がある。

宇都宮大学教育学部連携事業は、当該事業を試金石として、今後は、市内他大学との連携を積極的に進めていく。

市民大学は、より多くの市民に学習機会を提供するため、市民の学習ニーズを的確に捉え、より内容の充実したものを実施していく。

リカレント教育については、高等教育機関等で実施している高度で専門的な講座等の情報を集約し、市民に対して積極的に提供する必要がある。

## 3. 個性的な市民文化・都市文化を創造する

### ① 文化活動環境の充実

#### 【評価】

本市の芸術文化の普及及び発表の場として、市民芸術祭やジュニア芸術祭を開催している。平成20年度においては市民芸術祭の屋外で実施している軽音楽部門（「ミヤストリートギグ」）が悪天候により参加者数が減少したことに伴い、全体の参加者数も減少したが、ジュニア芸術祭への参加者数は増加しており、全体の参加者数は若干減少している一方で、小学生を対象とした芸術文化講師派遣事業へのニーズが高くなってきていることから、文化施策全体のニーズはあると考えている。

今後更にニーズを高めるために、市民参加の裾野を広げる事業展開を図る必要がある。

#### 【今後の方向性】

今後は引き続き、市民の文化活動に対する育成・支援の強化を図るとともに、市民芸術祭やジュニア芸術祭を充実させ、市民や子供たちが積極的に自分たちの



芸術文化を発表できる場づくりに努める。また、本市独自の文化資源であるジャズ・妖精等を活用した事業を展開することで市民参加の裾野を広げ、より多くの市民が芸術文化活動を展開できる環境の充実を図る。

## ② 文化的資源の掘り起こし、保存、継承

### 【評価】

地域住民で組織する民俗文化財の保存団体や、史跡や天然記念物などの愛護団体による愛護活動が活発化しており、市町合併により旧町に所在する文化財の愛護団体も組織されたことから、団体の設立件数も予定数を大きく上回っていることから、目標は達成している。文化財の調査・保護についても、年次計画のもと適正に執行している。また伝統文化の保存・継承についても、宇都宮伝統文化連絡協議会を立ち上げるなど、市民と連携を図り保護と活用に取り組む体制が構築された。

今後は本市の歴史や文化財について広く市民に周知・啓発を図るため、歴史・文化資源を活用した普及啓発事業に取り組むことが必要である。

### 【今後の方向性】

本市の文化財を広く市民に伝えるため、観光・まちづくり部局と連携し、宇都宮城址公園内土塁内施設の整備・運営等のさらなる検討や、携帯電話による情報提供など IT 技術を活用し、手軽に文化財情報が入手できる環境を整備する。また、主要事業である伝統文化継承事業については、宇都宮伝統文化連絡協議会と十分に連携を図り、伝統文化の継承や後継者の育成に努め、市民協働による事業の推進に努めていく。

## 4. 生涯にわたるスポーツ活動を促進する

### ① スポーツ活動環境の充実

#### 【評価】

少子高齢化や地域コミュニティの希薄化などに伴い、健康づくりや生きがいづくり、地域における連帯感の醸成など、スポーツの果たす役割は益々増大している。

市民体育大会やマラソン大会、ジャパンカップサイクルロードレース等の各種スポーツ大会や各種スポーツ教室を開催するなど、スポーツに参加する機会の拡大を図った。また、清原球場の観客席改修工事や柳田緑地、石井緑地簡易水洗トイレ設置工事をはじめとする利用者ニーズに対応した施設改修工事を実施した。

今後は、身近な場所で気軽にスポーツに親しめる環境を整えるため、地域スポーツクラブの育成を積極的に支援するなど、地域におけるスポーツ活動を充実させる必要がある。

### 【今後の方向性】

生涯にわたるスポーツ活動を促進するため、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめる、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援するとともに、各種スポーツ大会・教室の開催や老朽化するスポーツ施設を計画的に整備・修繕することにより、市民が自分に合ったスポーツに親しむためのスポーツ活動環境の充実を図る必要がある。

## ② スポーツを支える人材の育成，団体の活性化

### 【評価】

体育指導委員や少年スポーツ指導者を対象とした研修会の開催をとおり、スポーツ指導者の育成に努めた。

また、地域のスポーツ活動を主体的に実施している体育協会を支援することにより、地域のスポーツ振興に努めているが、人材の育成、地域や競技団体の活性化を図るため、市民に身近なスポーツに取り組む新たなスポーツ指導者の発掘と活用を図る必要がある。

### 【今後の方向性】

効果的にスポーツ活動を促進するため、引き続き、体育指導委員や少年スポーツ指導者など市民に身近な地域でのスポーツに取り組む指導者を対象とした研修会を開催するとともに、新たなスポーツ指導者の発掘と活用を進め、スポーツを支える人材の育成、団体の活性化に取り組む。

## 第4章 評価委員による所見

### ○ 宇都宮大学 教授 木村 寛 氏

#### 1 教育委員会の活動状況について

##### 〔評価〕

19年度に引き続き安定した活発な活動を行っていたと感じる。その中で市民に関われた教育委員会を目指した方向への努力に注目したい。また、直接に子どもや活動に携わる方々と接触して速やかに施策に反映させる姿勢を賞賛する。

##### 〔今後の方向性〕

4基本施策（生涯学習，学校教育，市民・都市文化，生涯スポーツ）を基に15施策を掲げて事業を具体化し推進することに異存なく有り難く感ずるが，限られた財源で事務局職員がそれぞれの事業に直接係わるには限界があると考えざるを得ない。教育や文化活動は教育・行政に直接係わる者だけでなく市民のみんなで協力・補生することを呼び掛け進めることがいまこそ求められている状況といえまいか。現在の学校教育の運営を含めて家庭・地域・企業のすべての人達に，実行可能な範囲で責任を伴う共生・補生を呼び掛ける方向を考えていただきたい。

#### 2 施策・事業全般について

##### ・生涯にわたる学習活動を促進する

##### 〔評価〕

24年度の目標に照らし20年度事業実績は十分である。

##### 〔今後の方向性〕

教育委員会事務局がNGOへの活動支援・調整役になり，この施策における成果が学校教育や市民・都市文化の向上につながる方向を期待したい。

##### ・信頼される学校教育を推進する

##### 〔評価〕

8つの具体的な施策；①学力向上，②豊かな人間性・健やかなからだ，③地域と連携した学校運営，④教育環境の充実，⑥高い指導力と情熱をもつ教職員を目指すとともに，新たな視点に立った⑤特別支援教育の充実と⑦幼児教育の充実，さらに⑧高校・高等教育の充実と広範な施策は均衡のとれた計画であり，それぞれの施策で望ましい成果を得ていることがうかがえる。

##### 〔今後の方向性〕

それぞれの施策についての方向性はきめ細かく納得させられる内容である。

学力面で国語科の読解力については，コミュニケーション力を支える他教科も含め，

さらに広い意味の言語力の向上を目指した学校の活動に限らない連携した取り組みが必要ではないか。同様に、食育や体力向上、インターネットを含めたいじめへの対応なども学校だけが抱え込まない具体的な取り組みを構築していけないだろうか。幼小、小中、中高の連携の必要は言うまでもないが、恒常的な実行可能性を第一とした長期展望での段階的な計画と実施に向けて共通認識が必要と感じる。

教育環境におけるパソコン室の整備は実際利用を考えるならば時代遅れの構想であり敢えて国の目標を意識する必要はないと考える。特別支援教育の分野こそ広く人材発掘を呼びかけ市民全体での互いに学ぶ補手を意識しあった取り組みを目指せないだろうか。その意味でも「今後の方向性」に掲げた方針に期待したい。

教職員人材育成システムに関して、本市に限らずこれまでの国を含めた方向性に疑問を感じざるを得ない。行政と学校の双方に共通して、目まぐるしく変化する施策と実務が打ち出され消化不良を起こしている。子どもを感化するのが教育であるならば、それを司る双方は考えながら行動する環境が不可欠であり、強制を含む政治的な側面は最小限に止めることが効果を期待するならば必要でないだろうか。教育行政と学校・教師に対する労働の責任量を減らし自由度を大きくすることである。

#### ・個性的な市民文化・都市文化を創造する

##### 〔評価〕

市が主導する活動への参加人数は横ばい、文化的資源の掘り起こし・保存・継承に対する任意団体の活動は増加という傾向は、行政主導からの脱却という見方もでき、文化が身近になってきたとも評価できまいか。

##### 〔今後の方向性〕

子どもを含め市民が宇都宮の文化を身近に感じ、協働による事業・気軽に足を運べるための支援・情報発信に努めるという方向に期待したい。

#### ・生涯にわたるスポーツ活動を促進する

##### 〔評価〕

スポーツに参加する機会の拡大と利用者の要望に対応した施設改修、スポーツ指導者の育成と地域の体育協会を支援している効果か、スポーツ実施率の向上と市域拡大も影響してか指導者登録者数の大きな増加を得ている。

##### 〔今後の方向性〕

生涯にわたるスポーツ活動の促進を目指して、身近な場所で気軽に親しめる地域クラブの設立・運営を支援、指導者の発掘・育成と協力への働きかけは納得する方向と感じる。

○ チャイルドラインとちぎ 副理事長 松江 比佐子 氏

1 教育委員会の活動状況について

〔評価〕

宇都宮の教育委員会施策は全国的にみてもかなり高い水準にあると思われます。その施策全般の審議、学校関係報告案件など、教育委員会は会議内容も回数も充実しており、その成果は非常に高いものであると考えます。

また、市民・現場の声を聞いていただきたいという希望に対し、学校・教育機関の視察以外にも、教職員や子どもたちとの意見交換会などユニークな企画が実施され、教育委員の活発な活動に頼もしさを感じました。

教育委員の顔が見えないのではという懸念も、宮っこだよりなどの広報紙やHPの活用により、非常にわかりやすくなってきたと思います。

〔今後の方向性〕

教育委員の構成もさまざまな立場の方の参加を得て、広く市民の声が反映されていると感じます。現在の方向性を高く評価したいと思います。

今後も「開かれた教育委員会」として、現場と遊離することのない活動の姿勢を保っていただきたいと願います。ただ、委員の負担はかなりなものと懸念されますので、その部分は教育委員会としても工夫されたく願っております。

2 教育委員会施策全般について

・生涯にわたる学習活動を促進する

〔評価〕

かねてより宇都宮の生涯学習の取り組みについては高く評価されるべきものと感じておりました。施策については目標ラインに到達していると考えます。

成人・高齢者の学びへの意欲は施策ともあいまって非常に高まりを見せ、充実を感じますが、未来を背負う子どもたちに関しての教育環境は問題を感じております。この問題は教育委員会施策というより経済状態を含めた社会全体の問題ですが、親力向上の事業、魅力ある学校づくり、宮っ子ステーション事業などは大きく期待のかかる企画・事業ととらえております。

〔今後の方向性〕

市民の学習意欲に答えるべく、ソフト・ハード両面の整備は不可欠で、その意味合いからも新しい図書館建設・整備推進など、学びの場の提供を今後とも期待します。

また、社会教育を進めていける人材の育成は急務であり、同時に、指導者としての潜在能力のある地域の人材をいかに掘り起こすか、情報の連携を進めていただきたく願います。

子どもたちの育成に関しても、地域の大人たちの力が大きく関わるものです。

宮っこステーションなどの事業については行政からの援助が不可欠ですが、宇都宮でいえば、子ども未来課の青少年の居場所づくりや、今エネルギーのある高齢者の方のボランティア参加などをうまく絡み合わせられたらと感じております。

地域ごとの特性なども考慮にいられた子育て支援・地域教育を目指していただけるよう願います。

## ・信頼される学校教育を推進する

### 〔評価〕

教育の大きな柱となる学校教育。小中一貫教育をふまえ、地域圏での学校づくりには大きく期待するところであります。

家庭の教育が大切な幼児教育に地域の連携、高等境域の場では地域への学びの場の提供というように、学校へ市民が足を運びやすい環境整備をさらに進めていただきたいと思えます。

施策については、学力、体力、人間性とバランスの取れたものとなっており、高く評価したいと思います。

学校設備の充実についても、耐震化、空調設備など順調に進んでいると感じられます。

現在のこどもの教育環境は経済問題もあいまって、問題を多く含んでおります。経済格差によって子どもたちの教育の公平性が損なわれることのない行政指導を願います。

また、学校教育では教職員の力がものを言います。特別支援教育など専門家のニーズも増加しています。教職員の方々への有効な研修制度の整備とともに、教育のプロが授業に専念できるシステム作りに期待しております。忙しすぎる現場の先生方も多いのではと懸念しております。

### 〔今後の方向性〕

「魅力ある学校づくり地域協議会」が全校に設置されましたが、この言葉がすべてを語っていると思えます。これが到達点であると思えます。

学力低下の懸念からか、児童・生徒自体の企画参加の文化祭・体育祭などの行事はどうしても縮小傾向にあり、子どもたちのコミュニケーション能力の低下にも関わるのではと感じております。生徒会活動など子ども参加の社会教育につながる部分は存在しますが、考えていただきたいと思えます。

ハードの部分では、学校設備は美しく合理的なものへ改善されつつありますが、今後の方向として、市独自のものではなく国家レベルの支援も必要でしょうが、環境に配慮したエネルギーシステム、国産・県産材の利用された建物などを取り入れていただけると環境教育にもつながるかと思えます。

またケータイ・インターネットの指導については引き続き積極的にお願したい分野です。有効に使いこなすために何に留意すべきか、ケータイを使い、子どもを巻き込ん

だ福祉犯の増加抑制について、学校としても取り組んでいただきたく願います。

## ・個性的な市民文化・都市文化を創造する

### 〔評価〕

市民の芸術活動は活発で、施策もそれをうけて、きめ細やかに対応されていて評価できるものと感じます。

芸術文化は歴史が育むものですが、その芽が育ち根付くには、ある程度時間がかかり、長いスタンスで取り組むべきものであると思います。

市民芸術祭の取り組みや、若手芸術家への支援など、高く評価できるものと感じます。

### 〔今後の方向性〕

現在存在する文化財が失われるのは惜しむべき事態ですので、歴史的な街並みや建造物の保存、伝統芸能、工芸の後継保存については、積極的に取り組んでいただきたいと思います。そのための市民への啓蒙教育もぜひ取り入れていただきたいと思います。

市内の歴史、芸術作品の紹介なども今後も市民に親しみやすく広報していただけたらと思います。

市民が気楽に絵をかいたり、音楽に親しめたりする講座なども民間を含めたくさんありますが、生涯学習と連携し、機会を増やし、情報を得やすくできるよう現在の施策を進めていただきたいと思います。

## ・生涯にわたるスポーツ活動を促進する

### 〔評価〕

栃木県内にサッカー、バスケット、自転車のチームなどのプロチームも存在し、健康志向の風潮ともあいまって、市民のスポーツへの関心は非常に高くなっていると思います。市内の学校の体育館なども、地域スポーツサークルなど、夜間利用団体はかなり多いようです。

スポーツへのモチベーションは上がっており、施策も成果をあげておりますが、スポーツができる施設がたりないのではと感じられます。

スポーツ少年団、部活動など少年のスポーツには、指導者の負担が非常に大きく、成果にも影響します。指導者については、もう少し人員が欲しい気がします。

### 〔今後の方向性〕

各まちづくり協議会など身近な組織で、いかにスポーツに縁遠い市民に運動の機会を提供できるか考えていけるといいと思います。

習得に時間のかかるスポーツ以外にもウォーキングなど気楽に体を動かせるものも運動ととらえ、体育協会、老人会など幅広い団体の協力で市民の健康向上の推進を図っていただきたいと思います。

スポーツ指導者については、現在の施策を進め、引き続き育成を図っていただきたく御願いたします。

## おわりに

社会情勢の急激な変化や教育ニーズの多様化などにより、教育をめぐる様々な課題が顕在化している中、その中核を担う教育委員会におきましては、地域の実態を十分に把握するとともに、将来を展望した教育を充実させることが一層求められております。

本市におきましては、教育を「人づくり」とし、人づくりの基本理念や各ライフステージにおける行動目標、家庭や地域、学校、企業、行政の役割を示した「宮っこ未来ビジョン」を平成17年度に策定いたしました。

このビジョンに基づき、子どもからお年寄りまでが本市に愛着と誇りを感じながら、生涯にわたって夢をもち続け、心豊かでたくましく生きることができ、人づくりの実現という最大の目標に向かい、本市独自の教育改革を推進しているところであります。

この教育改革の取組におきましては、ビジョンの理念を共有した学校教育や生涯学習、スポーツ、文化など各分野の計画に基づき、総合的、効果的に実効性の高い教育行政の推進に努めているところですが、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となって社会全体で人づくりをすすめることが何より重要であると考えております。

昨年度より実施している「教育委員会の点検・評価」では、教育委員会の活動と教育行政の施策事業について点検・評価を行うことにより、教育委員会の必要性を示すのみならず、議会へ報告や市民への公表を行うことにより、多くの市民の方々に本市が進める教育改革の取組を知っていただき、御理解、御協力をいただく機会となることを期待しております。

今後とも、この点検・評価の結果を踏まえ、本市の教育を担う責務を十分に認識しながら、常に教育行政の根本に立ち返り、社会情勢や新たな教育ニーズに応じた効果的な施策の展開に努め、新しい宇都宮の未来を切り拓く人づくりを推進してまいります。

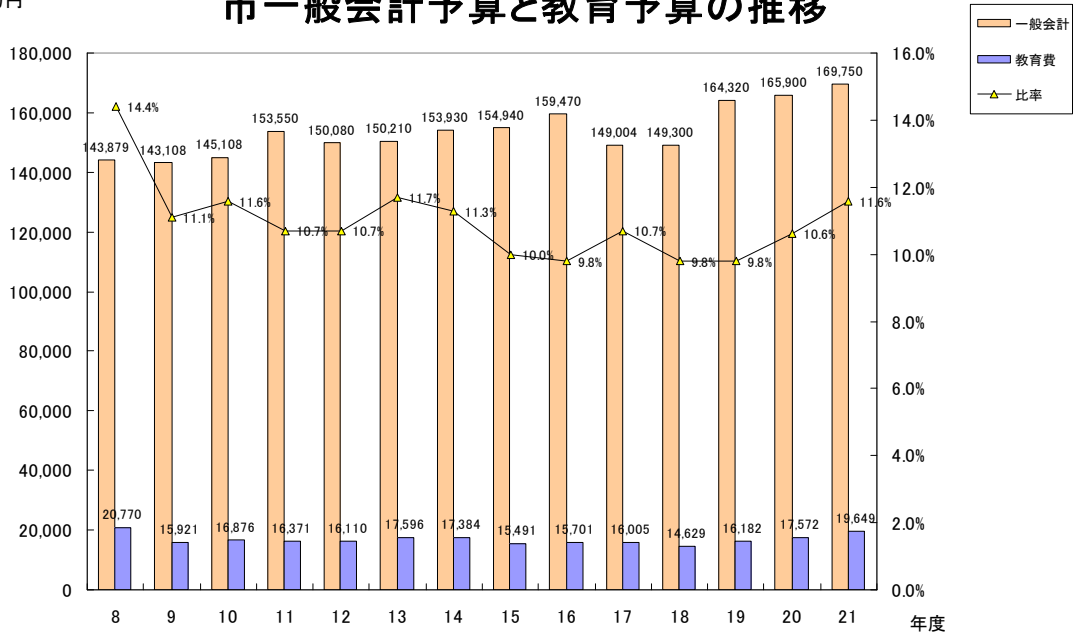


## 参考資料

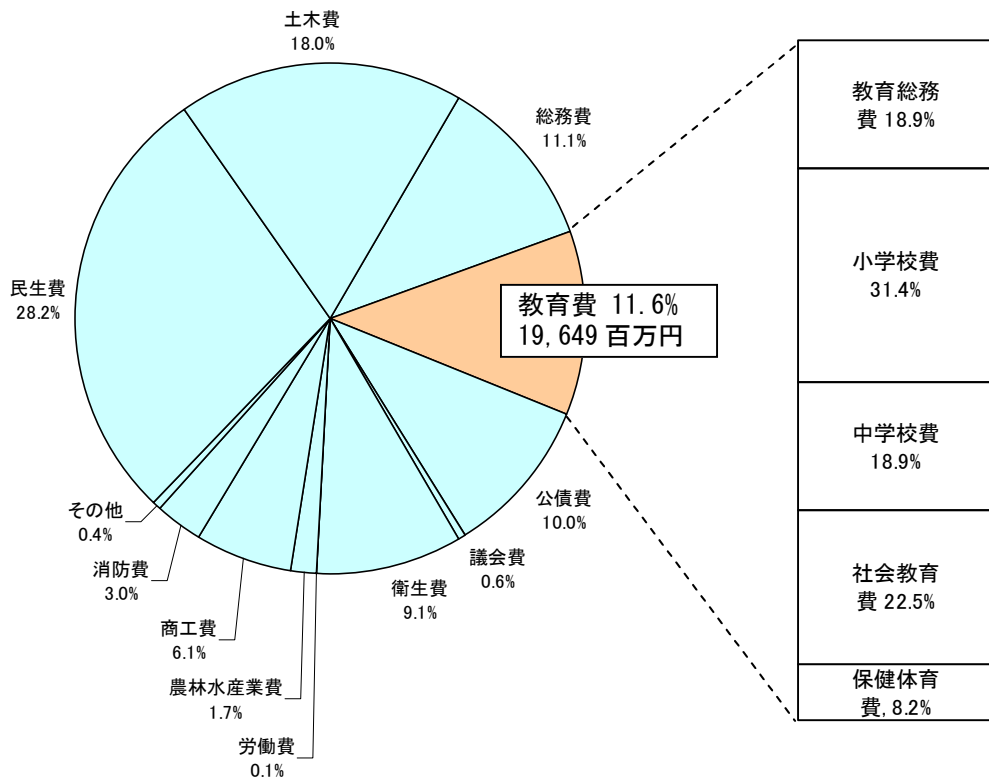
### 1 一般会計予算と教育予算

百万円

### 市一般会計予算と教育予算の推移



### 市一般会計予算と教育予算の内訳



2 施策評価票

施策の大綱:市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

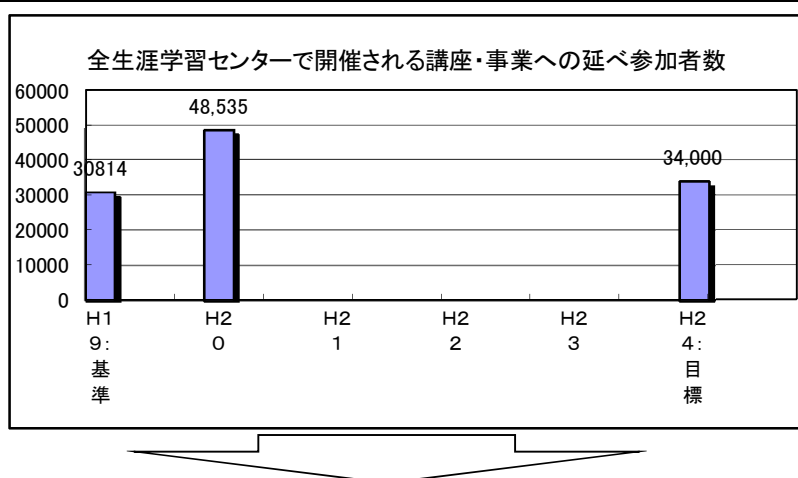
番号	基本施策 4	施策 15	主要事業	頁数
1	1 生涯にわたる学習活動を促進する	① 社会をつくる人づくりの推進	成人対象事業 青少年対象事業 人づくりビジョン推進事業 子ども情報センター事業 成人式の開催	33
2		② 家庭・地域の教育力の向上	家庭教育対象事業 家庭の教育力向上事業の推進 地域の教育力向上事業の推進 放課後子ども教室推進事業 子どもの家・留守家庭児童会事業 子どもの家建設・整備費	34
3		③ 生涯学習活動への支援充実	(仮称)第3図書館建設整備事業 生涯学習ボランティア養成事業 人材かがやき支援事業 市図書館と学校図書館のネットワーク事業 図書館情報提供システムの整備	35
4	2 信頼される学校教育を推進する	① 学力向上の推進	学力向上推進事業 外国語指導助手派遣 外国人児童生徒の日本語指導事業 研究学校支援事業(小学校) 研究学校支援事業(中学校)	36
5		② 豊かな人間性と健やかなからだの育成	学校教育における食育推進事業 うつのみや元気っ子プロジェクトの推進 部活動の推進 「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進 いじめゼロ運動の実施 教育相談事業 心の教育推進事業 適応支援教室事業	37
6		③ 地域と連携した独自性のある学校経営の推進	いきいき学校プラン推進事業 魅力ある学校づくり地域協議会推進事業 学校マネジメントシステムの推進 小中一貫教育の推進 小規模特認校事業	38
7		④ 教育環境の充実	校舎耐震化推進事業 体育館耐震化事業 校舎大規模改造事業 体育館・武道場整備事業 教室用パソコン整備事業 リフレッシュスクール事業	39
8		⑤ 特別支援教育の充実	特別支援教育事業 身体障がい支援事業 就学指導事業 就学児検査費 専門家チームによる巡回相談事業	40
9		⑥ 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成	教職員研修事業 情報教育システム事業	41
10		⑦ 幼児教育の充実	幼・保・小連携事業 子育てランド事業補助金(子ども部) 幼稚園就園奨励費補助金(子ども部) 幼稚園運営費補助金(子ども部)	42
11		⑧ 高校・高等教育の充実	奨学金貸付事業 宇都宮大学教育学部連携事業負担金 市民大学運営協議会交付金	43
12	3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	① 文化活動環境の充実	うつのみや百人一首市民大会交付金 宇都宮エスペール文化振興事業 うつのみやジャズのまち委員会交付金 妖精資料活用事業 文化会館事業 美術館事業	44
13		② 文化的資源の掘り起こし、保存、継承	宇都宮伝統文化継承事業 上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業 上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業 文化財周知啓発事業 文化財調査事業	45
14	4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	① スポーツ活動環境の充実	総合型地域スポーツクラブの育成 総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金 スポーツ施設等の整備 ジャパンカップサイクルロードレースの開催 体育文化振興公社運営補助金	46
15		② スポーツを支える人材の育成、団体の活性化	体育指導委員の育成 宇都宮市体育指導委員会補助金 宇都宮市体育協会育成補助金 少年スポーツ指導者の育成 上河内体育協会補助金 河内体育協会補助金	47

## 施策評価表

施策名	社会をつくる人づくりの推進
施策の目標	一人ひとりが人間力を向上させ、よりよい地域社会をつくるために貢献しています。
施策を取巻く環境	急激な社会環境の変化に伴い、市民のライフスタイルや価値観などが多様化している現代において、地域社会に貢献する人材を育成するために、様々な学習ニーズに対応した魅力ある講座等の企画や家庭、地域、学校、企業等と行政の連携による社会全体での人づくりの取組などが求められている。
施策所管課	教育委員会 生涯学習課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数	30,814 人	48,535 人	➡	34,000 人
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	成人対象事業	S24	講座数	54	29	継続
2	青少年対象事業	S24	講座数	11	13	継続
3	人づくりビジョン推進事業	H18	地域、企業等出前講座回数	10	11	継続
4	子ども情報センター事業	H13	情報誌発行回数	3	3	継続
5	成人式の開催	H13	成人式出席率	73.6	73.8	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	55,856 千円
	平成20年度:総事業費	55,717 千円

### ◆施策の評価

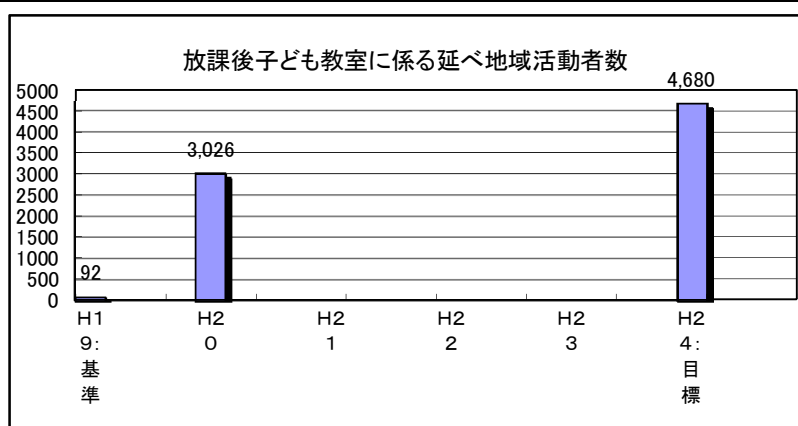
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

## 施策評価表

施策名	家庭・地域の教育力の向上
施策の目標	それぞれの家庭での教育と連携し、地域をあげて子どもを育成しています。
施策を取巻く環境	核家族化、少子高齢化の進行、価値観の多様化などを背景に、児童虐待やいじめ、青少年による犯罪の増加などの問題が顕在化し、家庭の教育力の低下が憂慮され、家庭の教育力の向上が求められている。また、地域住民の連帯感の希薄化や子どもを狙った犯罪が増加するなど地域の教育力の低下に対する認識も強く、子育て家庭を社会全体で支援し、地域で子どもを育むため、地域の教育力の向上への取組も必要となっている。
施策所管課	教育委員会 生涯学習課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	92人	3,026人	➡	4,680人
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	家庭教育対象事業	S24	講座数	24	29	継続
2	家庭の教育力向上事業の推進	H19	親学出前講座実施回数	61	86	継続
3	地域の教育力向上事業の推進	H18	地域教育活動支援研修の参加者数	71	467	継続
4	放課後子ども教室推進事業	H19	宮っ子ステーション実施校区数	2	3	継続
5	子どもの家・留守家庭児童会事業	S41	子どもの家設置力所数	63	65	継続
6	子どもの家建設・整備費	S41	年度ごとの子どもの家整備数	3	3	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	352,840 千円
	平成20年度: 総事業費	406,674 千円

### ◆施策の評価

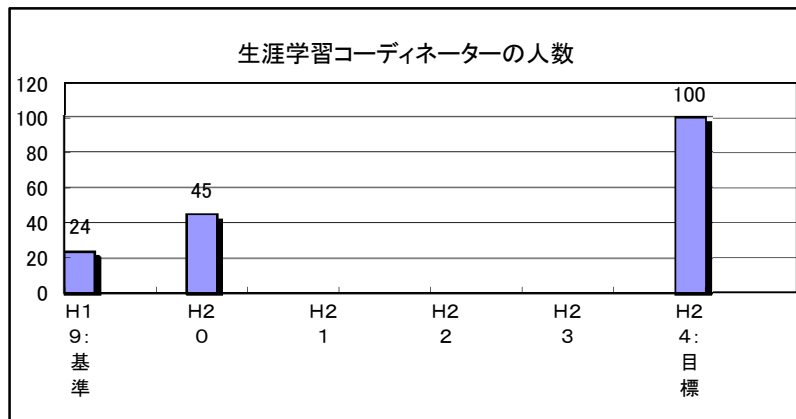
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である

## 施 策 評 価 表

施 策 名	生涯学習活動への支援充実
施 策 の 目 標	一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、生き生きと学んでいます。
施策を取巻く環境	これまで学習環境の場や機会の充実に努めてきたが、さらに市民の主体的な学習活動を促進する取組が必要であると共に、体系的・専門的な人づくりを促進するための拠点機能の整備が求められている。また、生涯学習活動をする市民の図書館に対するニーズは高度化・多様化しており、ソフト・ハード両面で充実を求める声が多い状況にある。
施 策 所 管 課	教育委員会 生涯学習課

### ◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 ( H 1 9 年 度 )	実 績 ( H 2 0 年 度 )	対 前 年 比 増 減	目 標 年 次 ( H 2 4 年 度 )
生涯学習コーディネーターの人数	24 人	45 人	➡	100 人
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	(仮称)第3図書館建設推進費	H17	実施設計	—	100	継続
2	生涯学習ボランティア養成事業	H13	コーディネーター養成講座修了者数	8	13	継続
3	人財かがやき支援事業	H20	メッセ出展団体数	—	37	継続
4	市図書館と学校図書館のネットワーク事業	H18	学校希望図書を利用する学校の割合	48.4	93.5	継続
5	図書館情報提供システムの整備	H15	検索数	300,911	405,592	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	1,058,030 千円
	平成20年度:総事業費	756,878 千円

### ◆施策の評価

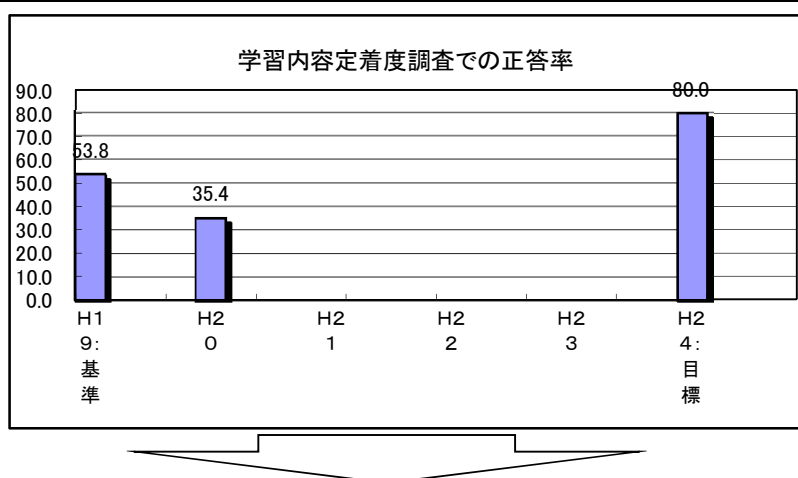
施策評価	達成度(単年度目標)		達成している(90%以上)	●	概ね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)	△
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している	
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある	
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である	

## 施策評価表

施策名	学力向上の推進
施策の目標	児童生徒が、学ぶ意欲をもち、基礎学力を身に付けています。
施策を取巻く環境	国際的な学力調査の結果などにより学力の低下について社会的な関心が高まっており、ゆとり教育の反省を踏まえた新しい学習指導要領が告示され指導内容及び授業時数の増加が示されるなど、学力向上の取組に関する必要性がより一層高まっている。
施策所管課	教育委員会          学校教育課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
学習内容定着度調査での正答率 (中学3年生の国語)80%以上の割合(%)	53.8 %	35.4 %	➡	80.0 %
学習内容定着度調査での正答率 (中学3年生の国語)50%未満の割合(%)	4.7 %	12.8 %	➡	3.6 %



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	学力向上推進事業	H18	学習内容定着度調査の実施校数	93	93	継続
2	外国語指導助手派遣	H1	外国語指導助手の派遣中学校数	25	25	拡大
3	外国人児童生徒への日本語指導事業	H4	日本語指導講師派遣回数	1,310	2,372	拡大
4	研究学校支援事業(小学校)	—	研究学校の指定数	32	23	見直し
5	研究学校支援事業(中学校)	—	研究学校の指定数	13	9	見直し

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	97,310 千円
	平成20年度:総事業費	101,886 千円

### ◆施策の評価

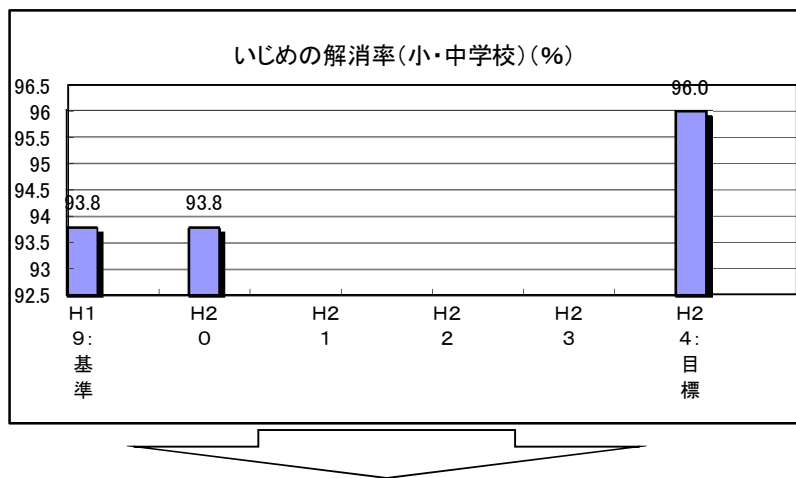
施策評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	●	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である		不十分である

## 施策評価表

施策名	豊かな人間性と健やかなからだの育成
施策の目標	児童生徒が、思いやりやたくましい心と体を持ち、規範意識をもって生活しています。
施策を取巻く環境	少子化や核家族化の進行に伴う地域の連帯感の希薄化などにより、家庭・地域社会での教育機能が低下する中で、朝食の欠食や食事マナーの低下、体力の低下、不登校児童生徒の増加などの問題が顕在化しており、更なる対応が求められている。
施策所管課	教育委員会 学校健康課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
いじめの解消率(小・中学校)(%)	93.8%	93.8%	→	96.0%
新体力テスト総合評価のS～A段階の割合(中学校3年生)(%)	13.9%	19.2%	→	20.0%



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	学校教育における食育推進事業	H17	生野菜、果物給食の実施校(校)	80	93	拡大
2	うつのみや元気っ子プロジェクトの推進	H18	新体力テストの実施校(校)	93	93	拡大
3	部活動の推進	—	関東中学校体育大会出場者数(人)	151	205	拡大
4	「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進	H20	携帯電話のフィルタリングの設定率(%)	17	17	拡大
5	いじめゼロ運動の実施	H20	いじめの解消率(%)	93.8	93.8	継続
6	教育相談事業	S59	教育相談室で実施した延べ相談回数(回)	8,595	7,924	継続
7	心の教育推進事業	H13	スクールカウンセラーの派遣校(校)	31	31	継続
8	適応支援教室事業	H6	通級児童生徒の学校復帰率(%) (部分復帰や中学卒業後の進路決定を含む)	71	73	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	489,395 千円
	平成20年度:総事業費	489,700 千円

### ◆施策の評価

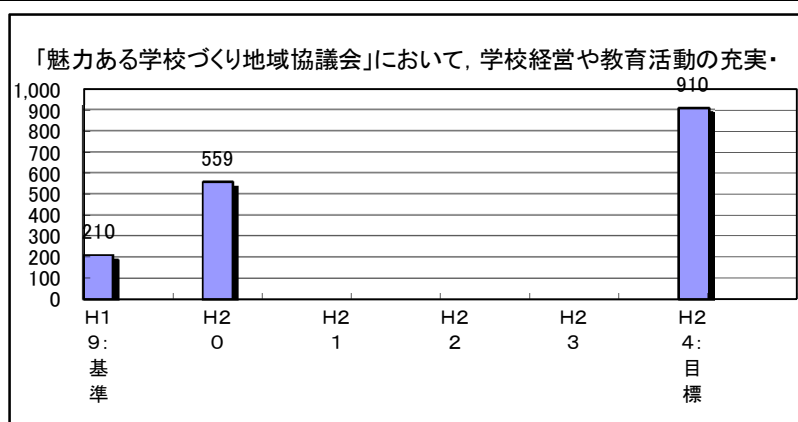
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	● やや不十分である	不十分である

## 施策評価表

施策名	地域と連携した独自性のある学校経営の推進
施策の目標	各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。
施策を取巻く環境	本市においては、地域に開かれた学校づくりを推進しており、改正教育基本法においても学校と家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚するとともに相互に連携・協力に努めるよう明記されているなど、地域とともに信頼と魅力のある学校づくりを行う必要性が高まっている。
施策所管課	教育委員会 学校教育課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
「魅力ある学校づくり地域協議会」において、学校経営や教育活動の充実・支援を図るために実施している事業数(件)	210件	559件	➡	910件
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	いきいき学校プラン推進事業	H18	うつのみや「いきいき学校」プランに基づく取組を実施する学校数	93	93	継続
2	魅力ある学校づくり地域協議会推進事業	H18	魅力ある学校づくり地域協議会設置数	39	91	継続
3	学校マネジメントシステムの推進	H19	学校評価書を外部に公表している学校数	93	93	継続
4	小中一貫教育の推進	—	小中一貫推進に係る会議	5	35	継続
5	小規模特認校事業	H17	小規模特認校入学児童数	36	49	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	36,559 千円
	平成20年度:総事業費	49,476 千円

### ◆施策の評価

施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

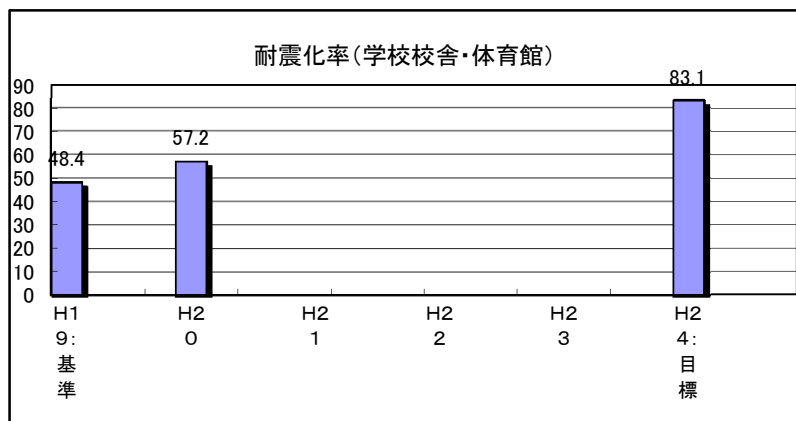


## 施策評価表

施策名	教育環境の充実
施策の目標	児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活を送っています。
施策を取巻く環境	安全性や快適性が確保されていないなど、教育を行う環境の整備が十分でない。 学校が自主自立的に学校運営を行うための財源の不足及び事務負担の増がある。
施策所管課	教育委員会                      学校管理課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年	実績	対前年	目標年次
	(H19年度)	(H20年度)	増減	(H24年度)
耐震化率(学校校舎・体育館)	48.4 %	57.2 %	➡	83.1 %
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	校舎耐震化事業	H18	耐震補強関連事業実施校	11校	19校	拡大
2	体育館耐震化事業	H19	耐震補強関連事業実施校	3校	13校	拡大
3	校舎大規模改造事業	H12	大規模改造工事実施校	3校	4校	継続
4	体育館・武道場整備事業	—	体育館改築事業実施校(設計, 改築, 耐力度調査)	3校	9校	継続
5	教育用パソコン整備事業	H18	教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	14.3人	14.3人	拡大
6	リフレッシュスクール事業	H20	普通教室空調設備設置校	0	24校	拡大

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	3,649,369 千円
	平成20年度: 総事業費	3,519,834 千円

### ◆施策の評価

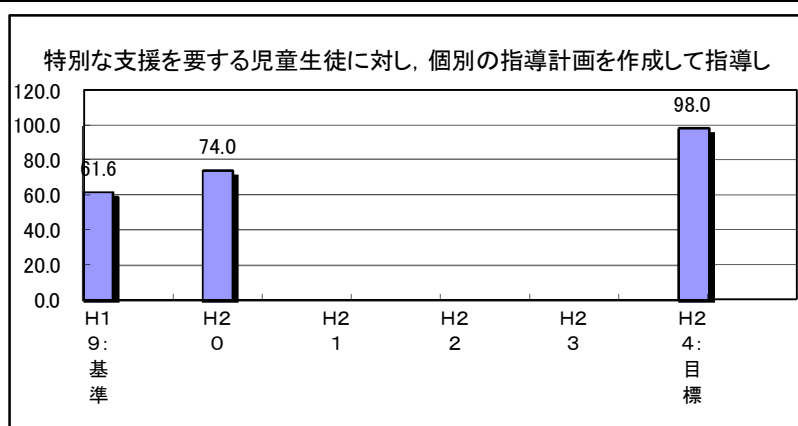
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

## 施策評価表

施策名	特別支援教育の充実
施策の目標	児童生徒一人ひとりが、ニーズに応じた適切な教育的支援を受けています。
施策を取巻く環境	特別支援学校入学者や特別支援学級入級者、通級指導教室通級者が増加し、特別支援教育へのニーズが高まっている一方で、20年度世論調査における本市の「特別支援教育」認知度は11%程度であることから、広く一般市民への啓発が必要である。
施策所管課	教育委員会          教育センター

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
特別な支援を要する児童生徒に対し、個別の指導計画を作成して指導している学校の割合(%)	61.6 %	74.0 %	➡	97.8 %
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	特別支援教育事業	H16	かがやきルーム設置校数	0	31	拡大
2	身体障がい支援事業	H14	生活補助員派遣数	11	11	継続
3	就学指導事業	H15	就学指導委員会の意見を参考に就学した児童生徒の割合(%)	72	71	継続
4	就学児検査費	—	就学時健康診断後の就学相談件数	42	38	継続
5	専門家チームによる巡回相談事業	H10	学校側の要請に応えられた割合(%)	100	100	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	163,308 千円
	平成20年度:総事業費	215,815 千円

### ◆施策の評価

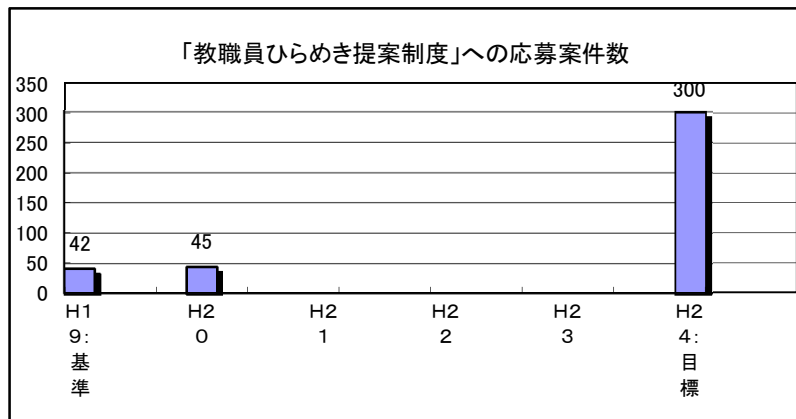
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である

## 施策評価表

施策名	高い指導力と情熱を持つ教職員の育成	
施策の目標	教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。	
施策を取巻く環境	学力や規範意識の低下、いじめ、不登校など、学校教育を巡る問題が深刻化している中、教職員には、様々な教育ニーズに適切に対応するとともに、使命感や専門性を高め、信頼を得ることが求められている。	
施策所管課	教育委員会	学校教育課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
「教職員ひらめき提案制度」への応募案件数	42件	45件	➡	300件
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	教職員研修事業	H12	全ての教職員研修講座に占める市教職員研修講座の割合(%)	58%	67%	継続
2	教育情報システム事業	H7	教育情報システム年間アクセス件数	482,430件	685,148件	継続
			情報教育研修への参加人数	897人	729人	

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	109,239 千円
	平成20年度:総事業費	120,273 千円

### ◆施策の評価

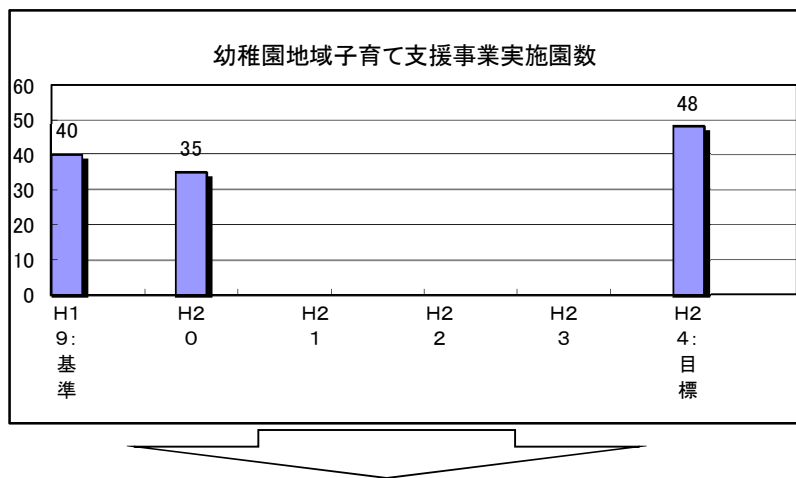
施策評価	達成度(単年度目標)		達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)	●	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である		不十分である

## 施 策 評 価 表

施 策 名	幼児教育の充実
施 策 の 目 標	幼児が人間形成の基礎となる適切な教育を受けています。
施策を取巻く環境	幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、幼稚園等の教育環境の充実や、小学校教育との円滑な連携を図るなど、幼児教育の充実が求められている。
施 策 所 管 課	教育委員会          教育企画課

### ◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 ( H 1 9 年 度 )	実 績 ( H 2 0 年 度 )	対 前 年 比 増 減	目 標 年 次 ( H 2 4 年 度 )
幼稚園地域子育て支援事業実施園数	40 園	35 園	➡	48 園
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	幼保小連携推進事業	H4	生活科・総合的な学習の時間に幼保小連携事業を位置づけた学校数	68	68	継続
2	子育てランド事業補助金(子ども部)	H13	未就園児親子教室事業などの実施数	135	113	継続
3	幼稚園就園奨励費補助金(子ども部)	S47	対象園児数	10255	10310	継続
4	幼稚園運営費補助金(子ども部)	S44	教職員研修の参加者数	28	48	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	566,385 千円
	平成20年度:総事業費	634,210 千円

### ◆施策の評価

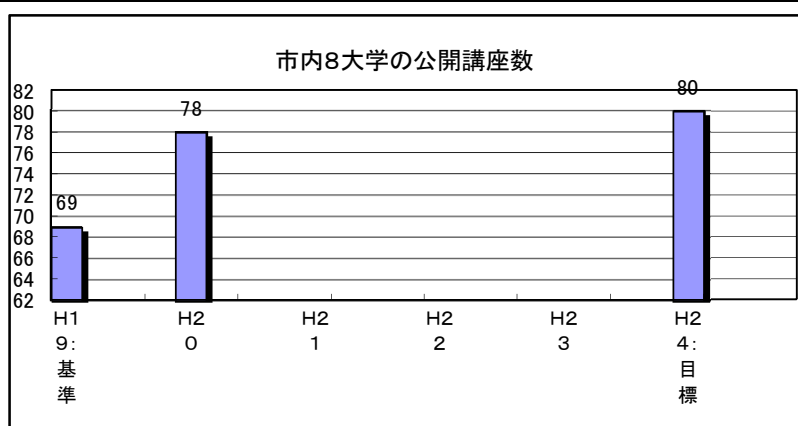
施策評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	●	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
必要性(住民・社会ニーズ)	増加している	●	横ばい	減少している	
効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
有効性(政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である	不十分である

## 施策評価表

施策名	高校, 高等教育の充実
施策の目標	市民が自己実現を図るために必要な, 高度で専門的な学習機会や場が充実しています。
施策を取巻く環境	市民一人ひとりの自己実現が図られる高度で専門的な学習機会の充実への取組が求められている。
施策所管課	教育委員会          教育企画課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
市内8大学の公開講座数	69 講座	78 講座	➡	80 講座
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	奨学金貸付事業	S43	当該年度の貸付者数	672	637	継続
2	宇都宮大学教育学部連携事業負担金	H18	連携協議会, 分科会開催回数	10	10	継続
3	市民大学運営協議会交付金(再掲)	H5	講座実施回数	123	135	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	273,742 千円
	平成20年度:総事業費	259,024 千円

### ◆施策の評価

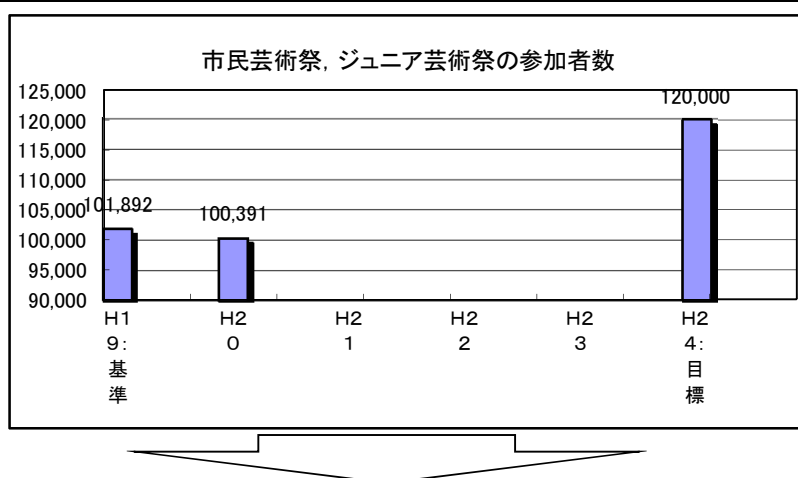
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	○	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)	
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		○	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である		●	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である		○	やや不十分である	不十分である

## 施策評価表

施策名	文化活動環境の充実
施策の目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。
施策を取巻く環境	価値観の多様化が進み、「物質的な豊かさ」より「心の豊かさ」を重視する傾向が年々強まっている。このような中、文化は、生活の中に楽しさや感動を与え、精神的な安らぎをもたらす、社会生活を豊かにするものとして、また、課題解決のための創造力を育み、社会に活力をもたらすものとして期待されている。
施策所管課	教育委員会 文化課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数	101,892 人	100,391 人	➡	120,000 人
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	うつのみや百人一首市民大会交付金	H7	市民大会、文化講演会開催数	2	2	継続
2	宇都宮エスペール文化振興事業	H13	選考委員会開催数、受賞者の発表数	4	5	継続
3	うつのみやジャズのまち委員会交付金	H13	主催・共催・協賛・後援事業数	18	12	見直し
4	妖精資料活用事業	H16	妖精資料活用事業数	30	51	継続
5	文化会館事業	S54	事業数	34	40	拡大
6	美術館事業	H9	事業数	67	74	拡大

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	957,683 千円
	平成20年度:総事業費	952,583 千円

### ◆施策の評価

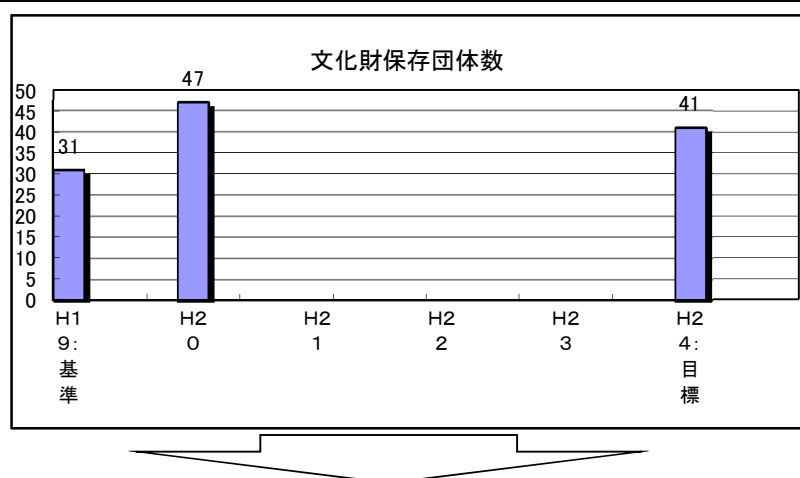
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)		増加している	●	横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である	●	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である		不十分である

## 施策評価表

施策名	文化的資源の掘り起こし、保存、継承
施策の目標	市民が文化遺産や伝統文化などの文化財を活用し、各々の地域に根ざした文化を守り、伝え、育んでいます。
施策を取巻く環境	市街地の拡大や生活様式の変化により、多くの文化財が失われつつある。このような中、文化財の保存及び活用を図ることにより、市民の郷土愛の醸成や、個性ある地域づくりの具現化など、市の文化向上の基礎となりえる貴重な財産であると期待される。
施策所管課	教育委員会          文化課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
文化財保存団体数	31 団体	47 団体	➡	41 団体
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	宇都宮伝統文化継承事業	H20	伝統文化フェスティバル参加者	12,000	12,000	拡大
2	上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業	H20	発掘調査面積	0	3,000	継続
3	上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業	H14	土地購入面積	18,799	7,301	継続
4	文化財周知啓発事業	H3	普及啓発資料の発行部数	3,600	3,600	継続
5	文化財調査事業	S42	発掘調査を行った文化財の件数	47	34	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	101,849 千円
	平成20年度:総事業費	75,923 千円

### ◆施策の評価

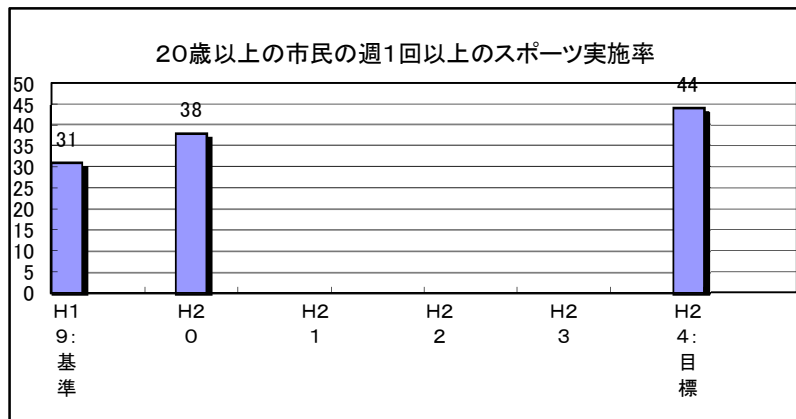
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である	●	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である

## 施策評価表

施策名	スポーツ活動環境の充実
施策の目標	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。
施策を取巻く環境	健康づくりや生きがいづくりなどのため、スポーツの役割は重要になってきていますが、身近な場所でスポーツができる環境が整っていないことやスポーツをするきっかけが少ないことなどにより、市民のスポーツへの取組みが十分でない状況にある。
施策所管課	教育委員会                      スポーツ振興課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年	実績	対前年	目標年次
	(H19年度)	(H20年度)	比増減	(H24年度)
20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	31%	38%	➡	44%
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	地域スポーツクラブの育成	H14	地域スポーツクラブ会員数	1,567	1,670	継続
2	地域スポーツクラブ活動支援補助金	H14	地域スポーツクラブ会員数	1,567	1,670	拡大
3	スポーツ施設等の整備	—	スポーツ施設利用者数	1,364,496	1,607,000	継続
4	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	H4	観客者数	61,000	65,000	継続
5	体育文化振興公社運営補助金	S56	スポーツ施設利用者数	1,132,469	1,335,447	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	626,975 千円
	平成20年度:総事業費	580,575 千円

### ◆施策の評価

施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)		概ね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である

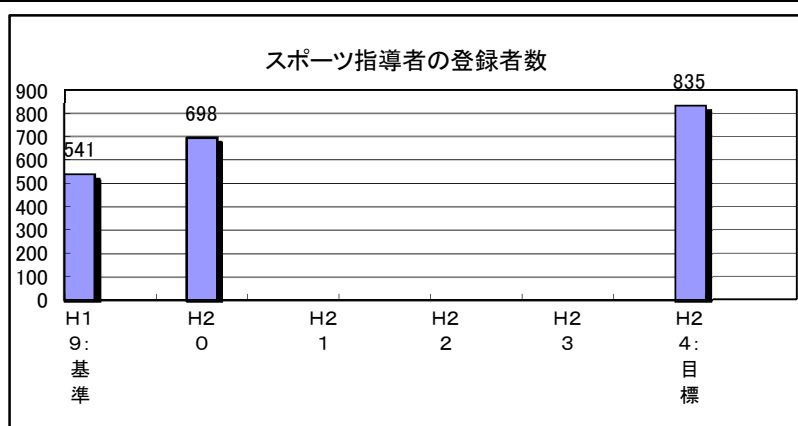


## 施策評価表

施策名	スポーツを支える人材の育成, 団体の活性化
施策の目標	市民のスポーツ活動が多く、指導者、スポーツ団体により支えられています。
施策を取巻く環境	市民のスポーツ活動の促進が求められるなか、スポーツ指導者が足りないことやスポーツ団体の活動の硬直化により、スポーツ活動の促進が充分でない状況にある。
施策所管課	教育委員会                      スポーツ振興課

### ◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
スポーツ指導者の登録者数	541人	698人	➡	835人
			➡	



### ◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	体育指導員の育成	S38	研修会参加人数	400	233	継続
2	宇都宮市体育指導員会補助金	S38	研修会参加人数	400	233	継続
3	宇都宮市体育協会補助金	S23	大会・研修会の開催回数	707	730	継続
4	少年スポーツ指導者の育成	S48	指導者数(人)	1,118	1,261	継続
5	上河内体育協会補助金	H19	大会・研修会の開催回数	18	21	継続
6	河内体育協会補助金	H19	大会・研修会の開催回数	20	23	継続

### ◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	34,646 千円
	平成20年度: 総事業費	36,465 千円

### ◆施策の評価

施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である